

東奈良名張 広域観光振興ビジョン

2020年度～2024年度



東奈良名張ツーリズム・マーケティング

2020年3月

目次

はじめに.....	2
1 観光の現状と動向.....	3
1) 国内における国内外の観光客の観光動向.....	3
2) 奈良県・三重県における外国人観光客の動向.....	4
2 これまでのENNの取組.....	6
1) ENN設立の経緯.....	6
2) ENNの3年間の活動概要.....	7
3) 4つの柱に基づくENNの取組.....	8
4) 3年間の活動から見てきた成果と課題.....	30
5) ENNの継続運営の必要性.....	33
3 今後の取組方針.....	34
1) 取組期間.....	34
2) 基本方針.....	34
3) ENNの役割.....	34
4) 組織の体制と他団体との関係性.....	35
4 具体的な戦略と施策.....	36
1) 基本コンセプト.....	36
2) 主とするターゲット.....	37
3) 目標値の設定.....	39
4) 具体的な戦略と施策.....	40
5) 持続可能な取組に向けた組織力の強化.....	42
5 ENNが将来目指す姿.....	43
1) DMO法人設立を視野に入れた取組の推進.....	43

資料編

○「東奈良名張ツーリズム・マーケティング」設立趣意書.....	46
○ 2019年度 東奈良名張ツーリズム・マーケティング組織体制.....	47
○ 東奈良名張ツーリズム・マーケティング規約（2017～2019年度）.....	48
○ 圏域6市村の関係する主な観光振興団体一覧（2020年3月現在）.....	51
○ 圏域6市村の関係する主な観光資源一覧（抜粋）.....	52
○ 圏域6市村の宿泊施設一覧（2020年3月現在）.....	54
○ 圏域6市村のモバイルアンケート協力事業者一覧（2020年3月現在）.....	56

はじめに

観光立国推進基本法が2006年に成立して以降、観光は日本の重要な政策の柱として位置づけられました。特に、少子高齢化が進み日本の観光需要の縮小が懸念される中で、拡大する世界の観光需要を取り込んでいくことが鍵となっています。

2017年3月、観光立国推進基本法に基づく新たな「観光立国推進基本計画」が閣議決定されました。計画には、2020年に、国内旅行消費額を21兆円、訪日外国人旅行者数を4,000万人、訪日外国人旅行消費額を8兆円にするなどの目標とともに、これらの達成のために講ずべき施策等が定められており、特に訪日外国人旅行者の拡大を全国に届けることを目的に、訪日外国人旅行消費額、訪日外国人リピーター数、訪日外国人旅行者の地方部における延べ宿泊者数が新たな目標として設定されました。

加えて国は、地域の観光振興には戦略的なマーケティングやプロモーションが不足していることを指摘し、それを機能させるための組織として日本版DMO (Destination Management Organizationの頭文字の略) の設立を呼びかけました。DMOとは、官民一体となって経営的な視点から観光地域づくりを進める法人で、国は2020年までに世界水準DMO100法人の目標を掲げました。

このような状況の中、2017年3月29日、奈良県宇陀市、曽爾村、御杖村、山添村、東吉野村及び三重県名張市（以下、圏域6市村）は、国の地方創生推進交付金を財源に「東奈良名張ツーリズム・マーケティング（以下、ENN）」を設立しました。

ENNは、日本版DMO法人登録を目指し、圏域6市村のエリア（以下、当圏域）への外国人誘客を中心とした広域観光における観光事業の健全な発展と振興並びに地域の活性化を図ることを目的にこれまで各種事業を推進してきました。

この度、これまで運営財源としていた国からの交付金措置が終了することとなりますが、今後の外国人観光客の動向見通しと、ENNにおけるこれまで3年間の取組を踏まえ、圏域6市村で検討・協議を行った結果、今後も取組を継続していくことが必要であるとの結論に至りました。

この「東奈良名張広域観光振興ビジョン（以下、本ビジョン）」は、ENNが今後も引き続き、取組を継続し深化・発展を図っていくための中期的な指針として策定しました。

1 観光の現状と動向

1) 国内における国内外の観光客の観光動向

2018年の日本人の国内延べ旅行者数（資料出所：観光庁）は、5億6,178万人となっています。うち、宿泊旅行が2億9,105万人、日帰り旅行は2億7,073万人となり、豪雨や地震、台風等の自然災害の影響もあり、宿泊旅行、日帰り旅行ともに対前年比1割以上の減少となりました。

一方で、2018年の訪日外国人観光客数（資料出所：日本政府観光局）は、3,188万人となり、6年連続で過去最高を更新しました。中国人向けのビザの発給緩和や消費税免税制度の拡充など国の積極的な政策展開とともに、各地域における積極的なプロモーションの実施や受け入れ体制の拡充、格安航空会社（LCC）の就航による航空運賃の低価格化など、多様な関係者による取組の成果と考えられます。

国別で見ると、中国が959万人（30.1%）と最も高く、次いで韓国558万人（17.5%）、台湾489万人（15.3%）が上位を占めています。近年、フィリピン、ベトナム等の東南アジア圏の伸び率が顕著となっており、これらを含めたアジア圏からの観光客が全体の85.8%と大部分を占めています。

また、地方自治体における外国人観光客の誘客に向けた積極的な取組や、訪日外国人観光客のリピーターの増加などにより、地方を周遊する外国人観光客が増加しています。さらに、リピーターの増加がニーズの多様化にもつながっており、近年では自然体験などのアクティビティや、日本の山村の生活や地域の祭りへの参加など“今、その場所でしかできない体験”を重視した「コト」消費への関心が高まっています。

国内人口の減少が進展し観光市場の縮小が懸念されるなか、2020年の東京オリンピック・パラリンピックや2021年のワールド・マスターズゲームズ2021関西、2025年の大阪・関西万博など国際イベントの開催が相次いで予定されていることに加えて、大阪府・大阪市がIRの誘致に積極的に取組んでいることなどを背景に、とりわけ関西地方を訪れる外国人観光客の増加に高い期待が寄せられています。

都市部から地方へ、さらにこれまで訪れていない場所や体験していないことへの流れが見込まれています。

2) 奈良県・三重県における外国人観光客の動向

① 奈良県における動向

2018年の奈良県の外国人延べ宿泊者数（資料出所：観光庁）は44万人となり、5年前の2013年と比較すると約2.7倍となっています。日本人を含めた延べ宿泊者数全体（257万人）に占める外国人延べ宿泊者数の割合は年々増加傾向にあり、2018年は17.1%で全国10位となっています。

国別で見ると、中国が54.9%と半数以上を占めて最も高く、次いで韓国（5.5%）、台湾（5.4%）となっています。全国の外国人延べ宿泊者数の国別割合をみると、中国が26.5%と最も高く、次いで台湾（14.5%）、韓国（14.3%）となっています。奈良県は中国の割合が全国平均より28.3ポイント高いことが特徴です。一方で、韓国や台湾は全国平均より9ポイント前後低くなっています。さらに、中国の延べ宿泊者数を5年前と比較すると、全国が5.3倍であるのに対し、奈良県は15.1倍と著しい伸びを示しています。

2018年に奈良県を訪れた外国人観光客数（資料出所：奈良県）は258万人となっています。旅行情報会社トリップアドバイザーの「外国人に人気の日本の観光スポット2019」において、4位に「東大寺」、14位に「奈良公園」が入っており、外国人観光客からも高い人気を誇ります。実際に、外国人観光客の奈良県への訪問率（資料出所：観光庁）は年々上昇しており、2018年は10.7%で全国6位と高い順位にあります。国別にみると、中国（21.5%）に次いで、イタリア（20.2%）、スペイン、フランス（いずれも16.1%）の順に高くなっていることから、宿泊は伴わないものの、ヨーロッパの外国人観光客が奈良県を訪れる割合が高いことが伺えます。また、マレーシアやシンガポールなどの伸び率も高くなっています。

② 三重県における動向

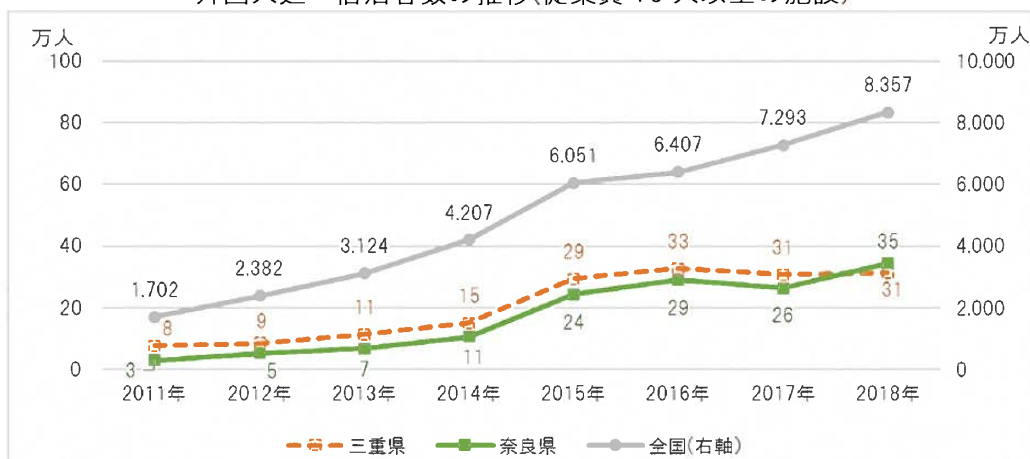
2018年の三重県の外国人延べ宿泊者数（資料出所：観光庁）は34万人となり、5年前に比べると2.6倍となっています。伊勢志摩サミット以降、おおよそ35万人前後で推移しています。日本人を含めた延べ宿泊者数全体（890万人）に占める外国人延べ宿泊者数の割合は3.8%と全国平均（17.1%）を大きく下回り、全国38位となっています。三重県は延べ宿泊者数全体の数は全国19位ですが、外国人宿泊者の数が少なく全国30位となっています。伊勢志摩サミットで一定の認知度が上がり、伊勢神宮やおかげ横丁など人気の観光地も有するほか、海女や忍者など三重県独自の文化に関心を示す欧米からの個人客やゴルフツーリズムなどによるアジア圏からの団体客など一定の来訪はあるものの、外国人観光客の割合は全国的にも小さいのが現状です。

国別で見ると、中国が最も高く（35.2%）、次いで台湾（12.6%）、タイ（9.7%）となっています。三重県も奈良県同様に中国の割合が全国平均より8.7ポイント高くなっています。また、県として誘客に注力している国の1つであるタイも全国平均より6.1ポイント高くなっています。三重県はタイやマレーシアの延べ宿泊者数が5年前と比較すると、6.3倍（全国は2.1倍）と高くなっています。

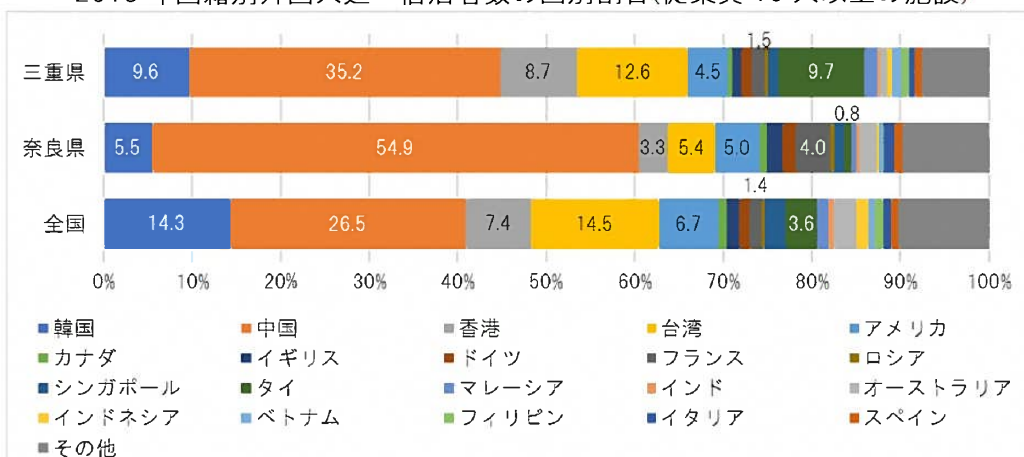
訪日外国人観光客の三重県への訪問率（資料出所：観光庁）は、2018年は0.5%で全国34位となっており、近年ほぼ横ばいとなっています。数値が小さいため取扱いに留意が必要ですが、外国人観光客の三重県への訪問率を国別にみると、ドイツ（1.4%）に次いで、香港（1.3%）、フランス（1.2%）の順に高くなっています。い

れの国も訪問率が小さく、国別による差が大きくないものの、総じてアジア圏等よりヨーロッパの観光客のほうが三重県への関心が高い傾向が伺えます。

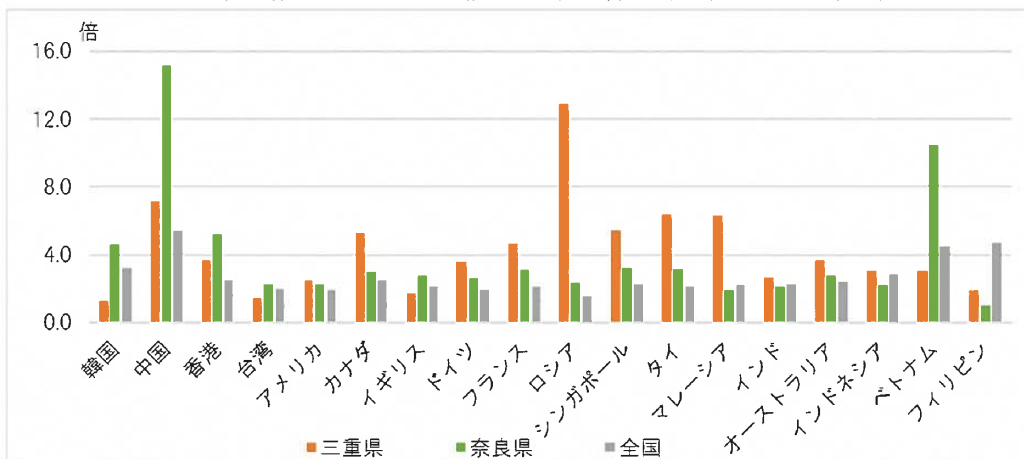
外国人延べ宿泊者数の推移(従業員 10 人以上の施設)



2018 年国籍別外国人延べ宿泊者数の国別割合(従業員 10 人以上の施設)



2018 年国籍別外国人延べ宿泊者数の伸び率 (対 2013 年比)



資料出所：宿泊旅行統計調査

2 これまでのENNの取組

1) ENN設立の経緯

2017年3月、観光立国推進基本法に基づく新たな「観光立国推進基本計画」が閣議決定され、国は、2020年に国内旅行消費額21兆円、訪日外国人旅行者数4,000万人、訪日外国人旅行消費額8兆円の目標を掲げました。

そして、訪日外国人旅行者の増加に向けた施策に重点を置いた取組の推進とともに、官民一体となって経営的な視点から観光地域づくりを進める組織として「日本版DMO」の設立を呼びかけました。

当圏域は、関西国際空港と中部国際空港の間に位置し、周辺には大阪、京都、奈良、愛知など、全国でもトップクラスの集客力を持つ観光地が集積しています。

加えて観光振興とりわけ外国人観光誘客は、単独自治体でなく行政界を越えて可能な限り広域で取り組むことが効果的であると言われてしています。

このような状況を踏まえ、圏域6市村は、国の地方創生推進交付金を財源に、当圏域への外国人観光誘客を中心とした観光振興と地域の活性化を図るとともに、日本版DMO法人登録を目指す広域観光組織として「東奈良名張ツーリズム・マーケティング（略称：ENN）」を2017年3月29日に設立しました。



設立総会の様子

① 組織体制（2019年度の体制）

- ・ 構成団体 奈良県宇陀市、曽爾村、御杖村、山添村、東吉野村、三重県名張市
- ・ 役員構成 【会 長】名張市長
【副会長】宇陀市長
【理 事】曽爾村長、御杖村長
【監 事】山添村長、東吉野村長
- ・ 事業体制 【運営委員会】構成自治体の担当課長及び事業部長
(運営委員会事務局 名張市産業部観光交流室)
【マーケティング事業部】事業部長1名、事業推進員4名

② 業務内容

○観光市場調査

観光を取り巻く社会情勢、観光客の動向と需要、圏域の観光入込客等の状況等に関する調査・分析

○観光商品の企画・開発

市場調査や現地調査を踏まえた観光コンテンツ及び観光商品づくり

○プロモーションとセールス

圏域の魅力と観光商品の国内外への情報発信と旅行代理店等へのセールス

○観光客の受け入れ環境整備

外国人を受け入れるための関係者の気運醸成、スキル向上、多言語化等おもてなしの環境づくり

2) E N Nの3年間の活動概要

① 2017年度

取組初年度となる2017年度は、まずは当圏域の既存観光関連データ等の収集や現地調査等による地域資源の掘り起こしを行いました。

外国人を対象としたモニターツアーのほか、海外の旅行代理店やメディアを対象とした視察（ファムトリップ）の受入を通じたモニタリングを中心に取り組みました。あわせて旅行博覧会等への出展やWebサイト、SNS等を活用した国内外向けの情報発信を通じ、訪日外国人誘客に向けた当圏域の強みと弱みについて調査しました。

また、当圏域の観光事業者等関係者を対象に講演会を開催し、外国人誘客への機運の向上にも取り組みました。

② 2018年度

2018年度は、当圏域の宿泊者や宿泊事業者を対象としたアンケート調査やWebサイト・SNSの解析による観光客の実態・ニーズ調査を実施しました。また、観光キャンペーンやWebサイト・SNS等での継続的な情報発信のほか、国内外で開催された旅行商談会に出展し、前年度の取組から造成した観光商品のセールスを行いました。

さらに、英会話ワークショップや講演会を通じ、観光客を受け入れる側のスキルの向上や関係者間のネットワークづくりに取り組みました。あわせて観光庁の日本版DMO法人登録に向けた調査研究にも取り組みました。

③ 2019年度

国による交付金支援の最終年度にあたり、2019年度には、これまでの取組を踏まえ、当圏域での消費拡大を意識した体験・滞在型の観光コンテンツや、着地型観光商品の造成とともに国内外の旅行商談会でのセールスを強化してきました。商談会からファムトリップまで一貫したセールスに取り組み、複数の海外旅行代理店が当圏域を含む旅行商品の販売や次年度にツアーを実施いただくに至りました。

また、今後の観光振興に向けたデータ蓄積のため、観光客を対象としたモバイルアンケート調査を開始しました。さらに、英会話ワークショップのほか新たにキャッシュレス決済、食の多様性やSNSの活用に関するセミナーを開催しました。

全国の先進DMO法人の調査や三重県等関係機関からの助言を踏まえ、観光庁の日本版DMO法人登録を視野に入れた、E N Nの今後の運営体制や運営資金の調達手法等について、構成自治体をはじめ様々な関係者ととともに議論を進めてきました。

3) 4つの柱に基づくENNの取組

①観光市場調査

⑦観光資源調査

当圏域は、美しい自然と歴史・伝統・文化資源に恵まれており、四季折々の景観と自然を活かしたアクティビティを楽しむことができる環境にあります。

また、それぞれの地域には、漆や薬草（大和当帰）、忍者など独自性のある文化資源も有しており、こうした資源を組み合わせることで様々な観光客ニーズに対応できる魅力ある観光商品が造成できる可能性を秘めています。

[宇陀市]

宇陀市の観光客は増加傾向にあり、2018年度は142万人となっています。地名が日本書紀に記載されたり、万葉集の歌に詠まれたりするなど歴史的背景を素地に持ち、外国人も多く訪れる「室生寺」や子供連れ家族に人気が高い「アニマルパーク」などが集客の中心となっています。



室生寺（シャクナゲと五重塔）

[曾爾村]

曾爾村は概ね45万人前後で推移しています。その大半は「曾爾高原」が目的となっており、ススキを楽しむことができる秋季に集中しています。また、漆塗り発祥の地とされることから、漆の歴史や文化を発信する拠点「ねんりん舎」をオープンし、その復興に注力しています。



秋の曾爾高原

[御杖村]

御杖村は2015年以降概ね10万人前後を維持しています。「姫石の湯」が最大の集客拠点となっていますが、周辺に温泉施設が立地したことの影響などから減少傾向にあります。三峰山の霧氷登山に一定の人気があることから、他の時季での商品開発に取り組んでいます。元小学校の木造校舎を活用した「三季館」（5月～10月営業）は、部活動の合宿や自治体関係者の会合のほか近年は学習塾の合宿等に用いられています。



三峰山の霧氷

[山添村]

山添村は 20 万人強で推移しており、「めえめえ牧場」などの観光施設を有し、星空観察の地として知られる「フォレストパーク神野山」が集客の中心となっています。また、「カントリーパーク大川」は週末には満員になるほど人気が高いキャンプ場です。近年では森林活用型アウトドアパーク「冒険の森」やサバイバルゲームフィールド「ルートアイリッシュ」など新たなジャンルのアクティビティ施設に注目が集まっています。



フォレストパーク神野山

[東吉野村]

東吉野村は、2017 年末に小さな道の駅「ひよしのさとマルシェ」の開業もあり、2018 年度は 40 万人となっています。霧氷で知られる「高見山」や 1,000 本のしだれ桜を楽しむことができる「高見の郷」、水神を祭る「丹生川神神社」などが集客の中心となっています。



高見の郷(千本のしだれ桜)

[名張市]

名張市には年間 110～120 万人程度の観光客が訪れています。「赤目四十八滝」「香落溪」「青蓮寺湖観光村（ぶどう狩り、いちご狩り）」が主な観光地です。ほかにも名張藤堂家邸、江戸川乱歩生誕地、観阿弥創座の地、美旗古墳群などの観光資源があり、近年は赤目四十八滝での忍者修行体験、シャワーライミング、滝打たれなどのアクティビティや、2019 年 4 月にリニューアルした赤目四十八滝キャンプ場などが人気を集めています。



赤目四十八滝(荷担滝)

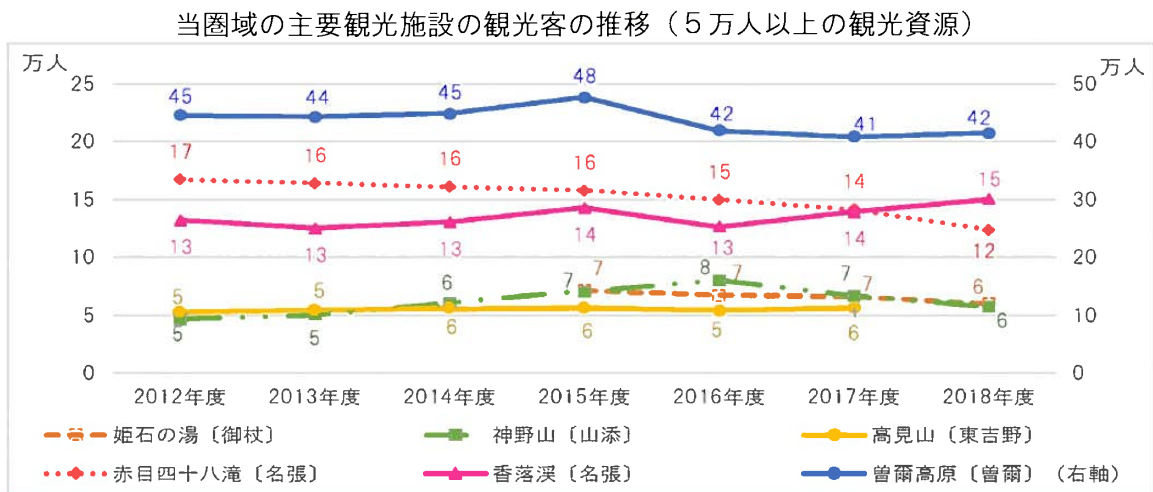
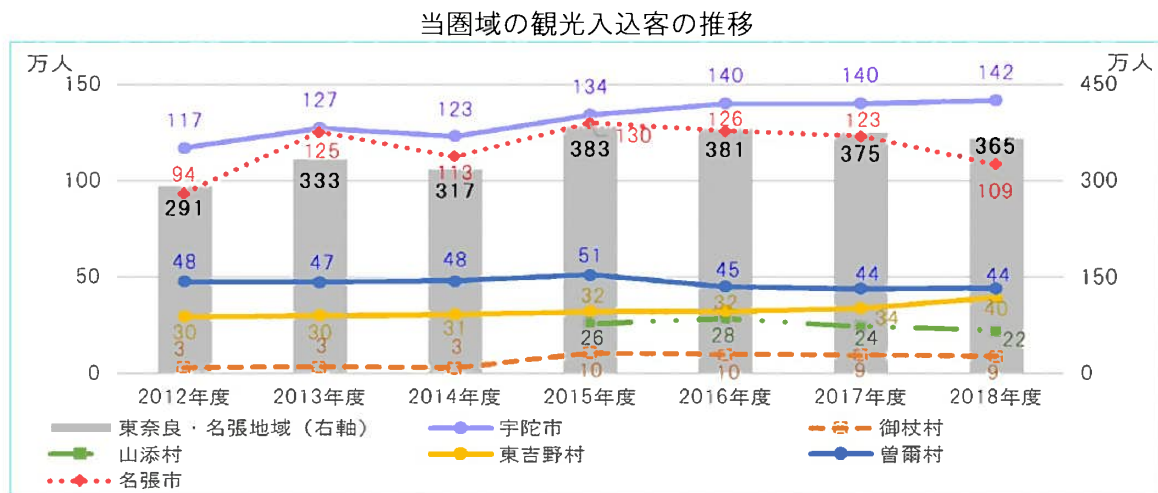
④当圏域の観光入込客数の推移 ※山添村は2015年度以降のみ

2015年度以降の当圏域の年間観光入込客数をみると、わずかに減少傾向にあるものの概ね370万人前後で推移しています。

観光資源別でみると、曾爾高原（曾爾村約42万人）が最も多く、アニマルパーク（宇陀市約22万人）、香落溪（名張市約15万人）、室生寺（宇陀市約15万人）、赤目四十八滝（名張市約12万人）が続きます。

渓谷、岩、滝、桜、紅葉、ススキなどの自然景観やトレッキングや登山、釣り、キャンプなどの自然を生かしたアクティビティ・レジャー、神社仏閣や忍者などの歴史・文化資源等を目的に、奈良県・三重県を含めた関西圏から訪れる観光客が多いことが特徴です。

しかし、宿泊施設が少ないことや長時間滞在したり周遊したりする仕組みが少ないことなどから日帰り客が大半を占めています。さらに、川遊びや登山、ハイキングなど無料で遊んだり鑑賞することができる資源が多いため、観光客が訪れても地域の収益には必ずしもつながっていない現状も見られます。今後は、当圏域内でより長い時間滞在し、消費してもらうことができるコンテンツや仕掛けづくりが必要です。



資料出所：宇陀市、曾爾村、御杖村、山添村、東吉野村、名張市

⑦当圏域の宿泊施設の状況調査

当圏域の宿泊施設の状況をみると、名張市はビジネスホテルと旅館、宇陀市は旅館が中心となっています。名張市以外にビジネスホテルを持つ自治体はありません。他の4村では、民宿や民泊などの小規模宿泊施設が中心となっていますが、廃校を活用した宿泊施設や青少年自然の家など、学校関係の合宿など団体客が利用できる施設も複数あります。また、曾爾村と東吉野村では複数のキャンプ場を有しています。

さらに近年の傾向として、農泊・民泊施設の数が増加しており、来年度以降の開業も既に複数予定されています。海外の富裕層をターゲットにした滞在を楽しむことができるタイプや、田舎の農家の生活を体験できるタイプなど多様な形態の農泊・民泊施設が増加しており、宿泊客層の拡大が期待できます。

当圏域の種類別宿泊施設数

	宇陀市	曾爾村	御杖村	山添村	東吉野村	名張市	施設別計
オートキャンプ場	1	1					2
キャンプ場		2	1	1	3	1	8
クラインガルデン		1					1
ビジネスホテル						6	6
ペンション							0
宿泊施設	2	1	1		2		6
貸コテージ		1					1
農泊	3	3	1	2		1	10
民宿	1	4	1		1		7
旅館	6		1		3	8	18
合計	13	13	5	3	9	16	59

資料出所：宇陀市、曾爾村、御杖村、山添村、東吉野村、名張市

⑤ 宿泊観光客調査からみる日本人観光客の動向調査

調査期間 2018年11月1日～2019年3月31日

調査対象 当圏域の宿泊事業者及び宿泊客

調査方法 当圏域36の宿泊事業者の協力によるアンケート調査

標本数 827件

調査の結果によると、当圏域を訪れる日本人観光客の半数が60代以上となっています。同行者は夫婦・恋人が35.4%と最も高いものの、一人旅や家族旅行、友人・知人など多岐にわたっています。また、リピーターが59.0%で、なかでも4回目以上の来訪者が38.6%と高くなっています。

訪問目的は「自然（アクティビティ・自然景観鑑賞など）」32.8%で、「文化・歴史（鑑賞・体験・祭り、イベントなど）」が30.9%といずれも3割を超えています。また、滞在中の情報源として「ウェブサイト」が40.2%と最も高くなっており、インターネットによる情報発信の重要性が伺えます。また、「観光パンフレット」や「観光雑誌」などの紙媒体も一定の割合を占めています。

回答者の年代



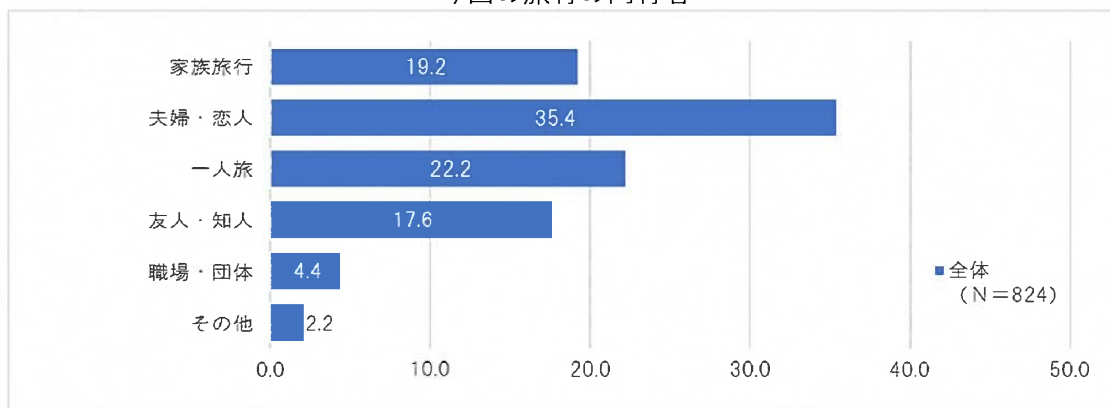
当圏域への来訪回数



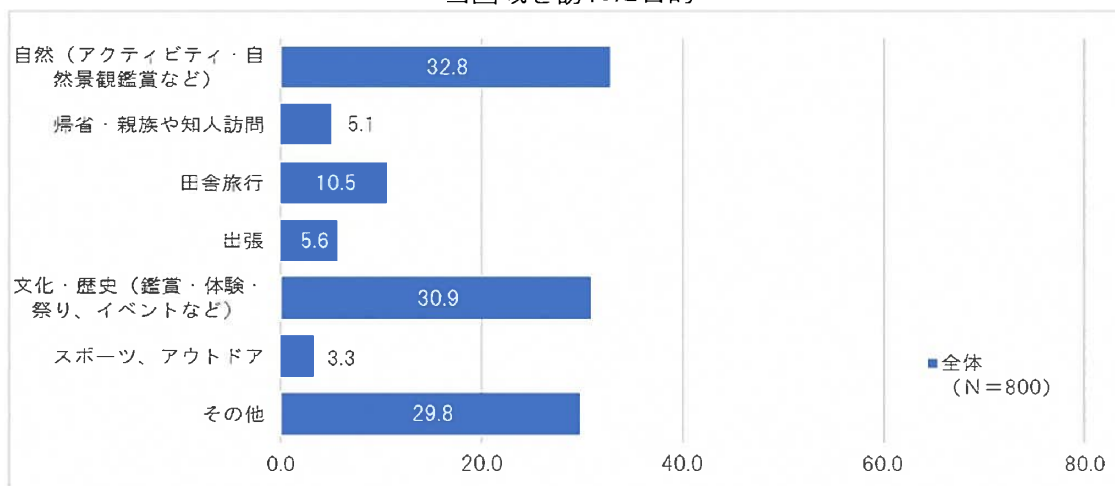
当圏域で宿泊した施設での宿泊日数



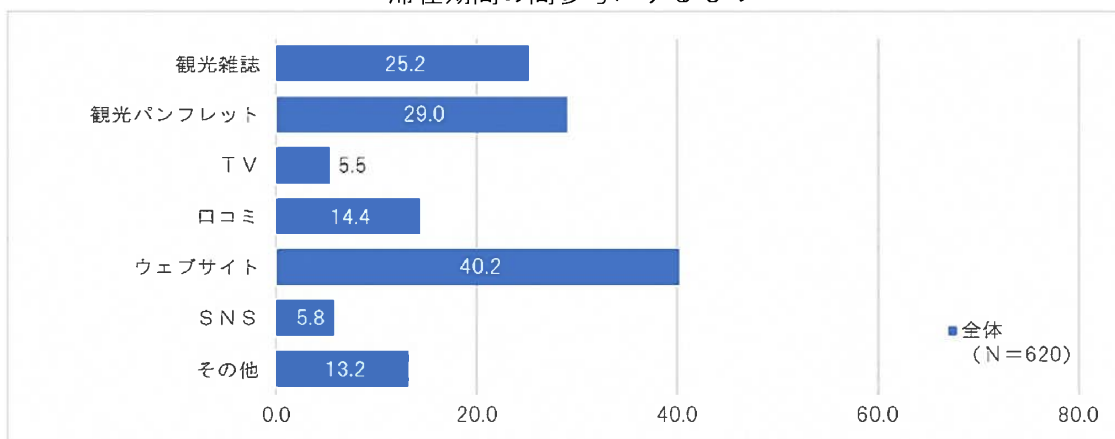
今回の旅行の同行者



当圏域を訪れた目的



滞在期間の間参考にするもの



宿泊施設の満足度



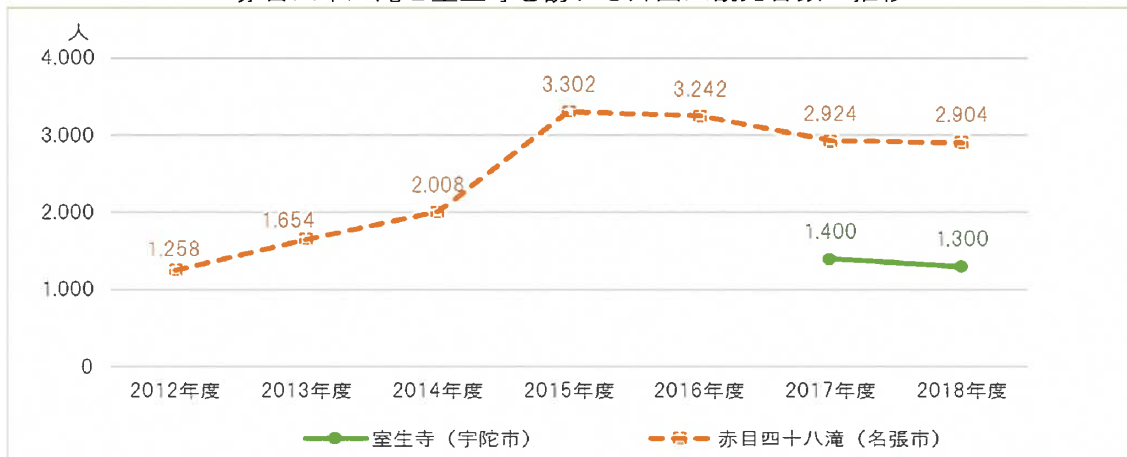
④当圏域を訪れる外国人観光客数の推移

2018年度の赤目四十八滝（名張市）の外国人観光入込客数は2,904人となっており、2015年度以降微減しています。国別ではアメリカが最も多く、いわゆるバックパッカーと呼ばれる欧米系の個人旅行客が中心となっています。一方で、忍者の森で忍者修行体験に参加した外国人は2016年度以降毎年100人程度ずつ増加しています。

2018年度の室生寺（宇陀市）の外国人観光入込客数は1,300人となっています。中国からの団体客が大半を占めており、欧米系の個人客も見られますが、わずかにとどまっています。

近年では、青蓮寺湖観光村（名張市）のぶどう狩りやいちご狩りや、カエデの郷ひらら（宇陀市）での日本文化の体験などに人気が高まっているほか、トレッキングや古民家やゲストハウスでの宿泊を目的に訪れる個人旅行客が増加傾向にあるなど、外国人観光客の多様なニーズが伺えます。

赤目四十八滝と室生寺を訪れる外国人観光客数の推移



資料出所：宇陀市、名張市

モバイルアンケートを開始しました！

当圏域内59の宿泊施設等事業者の皆さんにご協力をいただき、2019年8月1日から当圏域を訪れた観光客の皆さんを対象としたモバイルアンケートを開始しました。

日本版DMO法人登録に必要となる基礎データを中心に、スマートフォンで気軽に回答いただける内容となっています。日本語、英語、中国語の3か国語対応です。

アンケートに回答いただいた方の中から抽選で当圏域の特産品をお送りしています。



㊦当圏域での外国人宿泊状況（2018年10月～2019年3月）

当圏域における外国人の国別の宿泊状況をみると、中国（27.4%）が最も高く、次いでヨーロッパ（16.4%）、香港（12.8%）とアメリカ（12.8%）、台湾（9.9%）となっています。

中国、香港、台湾、アメリカなどの団体旅行客の多くは名張市内のホテルに宿泊しています。

一方、ヨーロッパやアメリカの個人旅行客は、名張市、宇陀市の民泊施設や民宿に宿泊している割合が高くなっています。これらの個人旅行客のなかには、近鉄大阪線の名張駅や榛原駅近くの宿泊施設を拠点にして、大阪、京都、伊勢・志摩などの観光地を周遊訪問しているといった例も多く見られます。

当圏域の主な宿泊施設にみる国別外国人宿泊者数一覧（2018年11月～2019年3月）

		宇陀市							普爾村			東吉野村			名張市					合計
		施設A	施設B	施設C	施設D	施設E	施設F	施設G	施設A	施設B	施設C	施設A	施設B	施設C	施設A	施設B	施設C	施設D	施設E	
県内外	県内	301	0	2	3	2	0	0	2678	0	0	45	9	0	648	0	45	320	0	4053
別延べ	県外	697	9	230	150	51	16	45	6352	48	26	60	85	23	5711	0	1921	1582	97	17103
宿泊者	うち外国人延べ数	0	11	13	3	5	26	2	0	9	0	0	1	0	192	0	38	86	109	495
数	うち外国人実数	0	9	11	3	3	22	2	0	9	0	0	1	0	192	0	38	76	37	403
外国人 国籍別	韓国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	10	16
	中国	0	0	0	0	1	6	0	0	6	0	0	0	0	96	0	0	10	11	130
	香港	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	34	19	6	61
	台湾	0	3	0	0	0	2	1	0	3	0	0	0	0	2	0	4	30	2	47
	シンガポール	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	9
	インド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マレーシア	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	12	21
	インドネシア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	ベトナム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
	フィリピン	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	16
	タイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	9	0	14
	アメリカ	0	2	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	45	0	0	6	1	61
	カナダ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	ヨーロッパ	0	4	2	1	0	12	1	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	42	78
	メキシコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	0	7
オーストラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	
その他(国名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	

※名張市の「施設E」の外国人国籍別は、延べ数の内訳で表記しています。

㊦ 宿泊観光客調査からみる外国人観光客の動向

調査期間 2018年11月1日～2019年3月31日

調査対象 圏域の宿泊事業者及び宿泊客

調査方法 圏域36の宿泊事業者の協力によるアンケート調査

標本数 49件

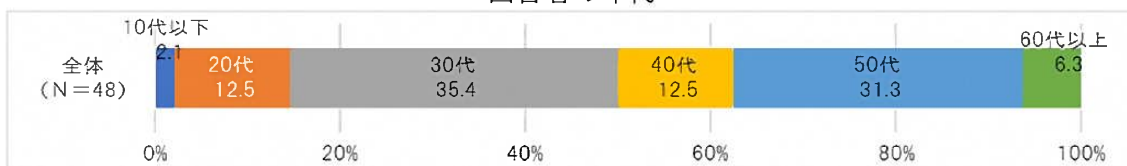
調査の結果によると、当圏域を訪れる外国人観光客の年代は30代と50代がそれぞれ3割強を占めています。国別で見ると、中国が最も高く、次いでフランス、マレーシアが同率となっています。圏域別で見ると、ヨーロッパ圏とアジア圏がそれぞれ4割前後となっています。

同行者は夫婦・恋人が40.8%と最も高く、次いで友人・知人が34.7%となっています。また、当地域を訪れた目的は、「自然（アクティビティ・自然景観鑑賞など）」が75.0%と最も高く、次いで「文化・歴史（鑑賞・体験・祭り、イベントなど）」が54.2%となっており、ともに日本人観光客の回答と比較して高い割合となっています。

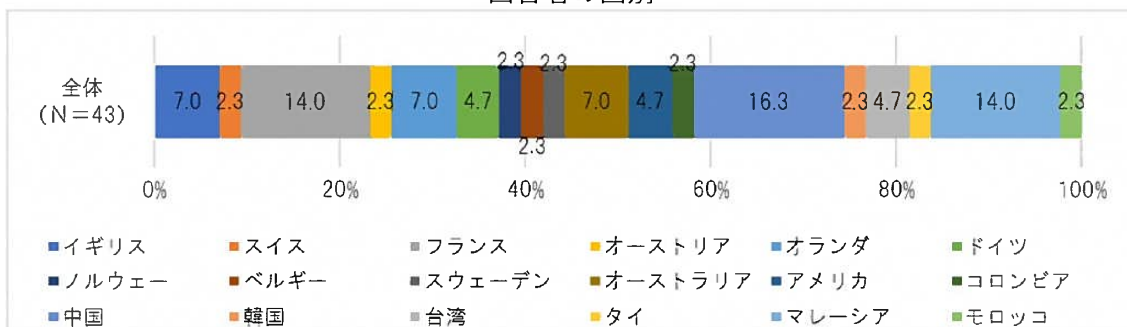
来訪回数は「初めて」が69.4%、リピーターが30.6%となっています。

宿泊日数は1泊が49.0%となっており、約半数は2泊以上の長期滞在の傾向にあり、宿泊施設の満足度も総じて高く、日帰り客の割合が高い当圏域において観光消費額を拡大していくためには外国人の観光誘客の重要性が伺えます。

回答者の年代

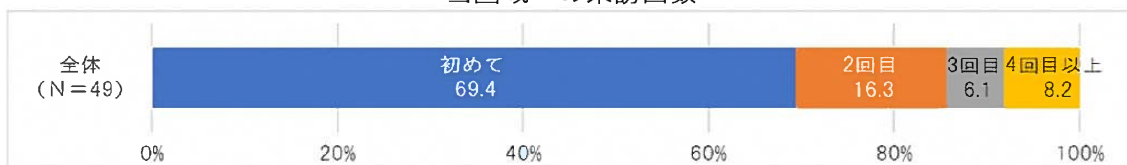


回答者の国別

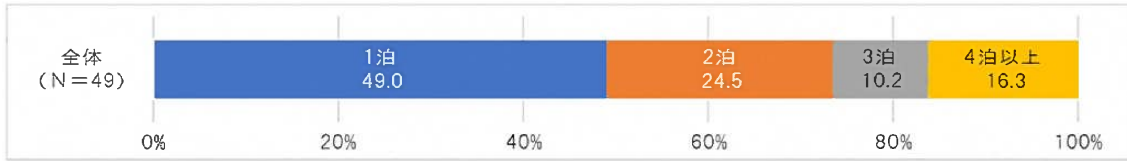


※1枚の回答用紙に複数の国名が記載されている場合は合算したため、回答者数と一致しない

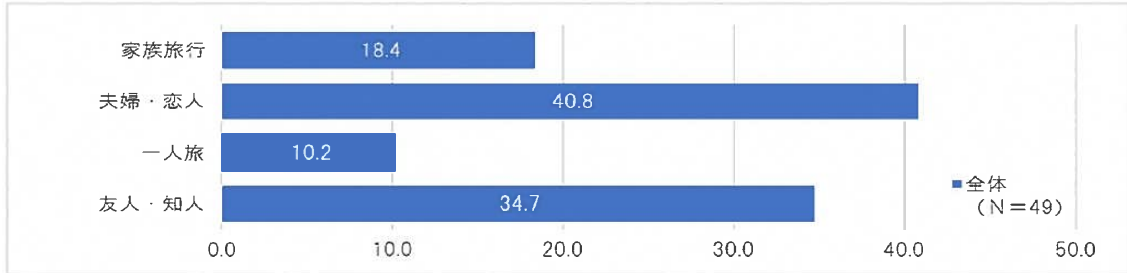
当圏域への来訪回数



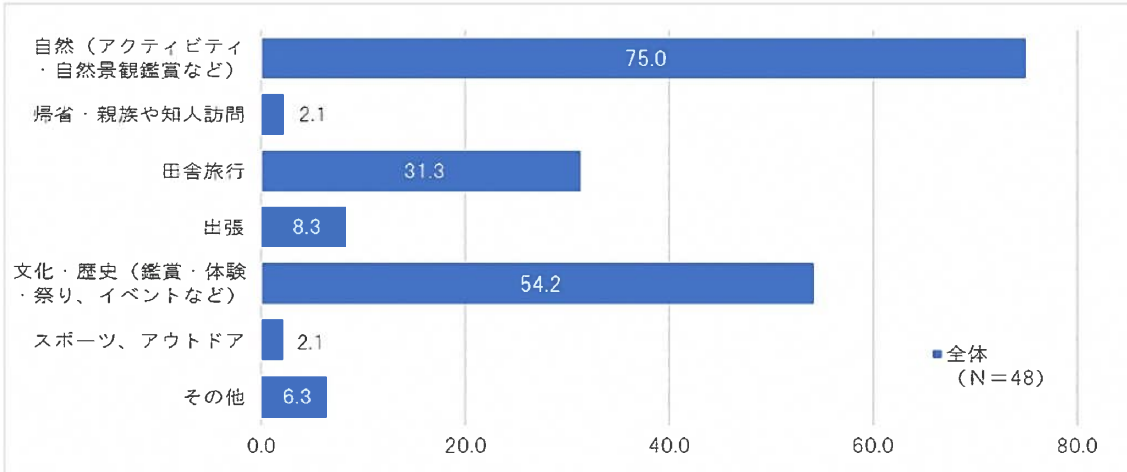
当圏域で宿泊した施設での宿泊日数



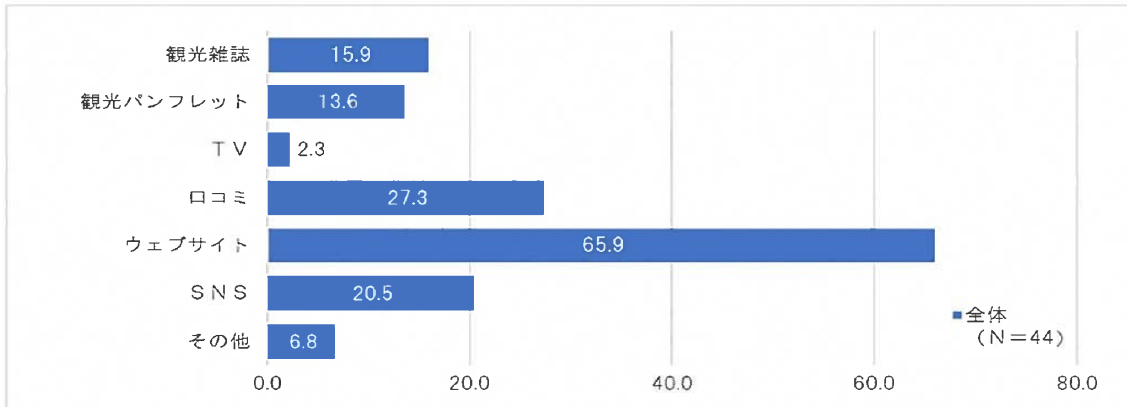
今回の旅行の同行者



当圏域を訪れた目的



滞在期間の間参考にするもの



宿泊施設の満足度



② 観光商品の企画・開発

㊦ モニターツアー等の実施

ツアーの企画や着地型観光商品造成のため、体験メニューや寺社・仏閣、自然景観、町歩き、食などの地域資源を組み合わせた外国人モニターツアーや体験モニターを実施しました。

こうした取組を通じて外国人観光客の需要に対する当圏域の強みと弱みの調査・分析や、観光商品の磨き上げによる充実を行ってきました。

実施日	実施場所	内 容
2017年3月25・26日	宇陀市・名張市	モニターツアー 名張駅→赤目四十八滝→室生山上公園芸術の森→室生寺→龍穴神社→墨坂神社→藤堂家邸→名張駅 参加者36名
2017年10月14日	山添村・名張市	モニターツアー 名張駅→狂言体験→神野山（映山紅、鍋倉溪、めえめえ牧場）→和菓子づくり体験→名張駅 参加者16名
2017年10月15日	曾爾村・御杖村	モニターツアー 名張駅→丸山公園→御杖神社→御杖高原牧場→曾爾高原→獅子舞見学→屏風岩→名張駅 参加者15名
2017年11月27日	名張市	組紐体験モニター 参加者2名
2017年12月16日	御杖村	寿司づくり体験モニター 参加者2名
2018年2月18日	御杖村	三嶺山登山霧氷体験モニター 参加者15名
2018年6月17日	名張市	ちまきづくり体験モニター 参加者3名
2018年10月7日	東吉野村	小川祭り体験モニター 参加者11名
2018年11月25日	名張市	影絵体験モニター 参加者5名
2019年2月16日	東吉野村	高見山樹氷登山モニター 参加者6名



獅子舞見学(曾爾村)の様子



高見山樹氷モニター(東吉野村)の様子

①体験メニューの企画・造成

観光資源調査やモニターツアーなどの取組を通じ、また、当圏域の事業者の皆さんと協議を行いながら、多様な着地型体験メニューの企画・造成を行いました。

メニュー名	協力事業者	体験内容・対象
漆塗り体験	漆ぬるべ会「漆工房」(曾爾村)	漆の歴史や特徴、漆ができるまでの工程を学ぶ。木皿への漆塗り体験。木皿は記念品と受け取ることができる(乾燥後郵送)。工房の近くの漆の木も見学。
曾爾高原ハイキング	そに木霊プロジェクト(曾爾村)	ススキの名所曾爾高原(所要時間約2~3時間)、国の天然記念物に指定されている標高900m級の鎧岳と兜岳(所要時間約5時間)、屏風岩(所要時間約5時間)を巡る各ハイキングツアー。
鎧岳&兜岳ハイキング		
屏風岩公苑ハイキング		
高見山雪山ハイキング	※実施主体との調整が必要(東吉野村)	“関西のmatterホルン”標高1,248.4mの高見山での真冬の霧氷見学。
鮎釣り体験	東吉野村漁業協同組合ほか	アユの友釣り体験。2~3名のスタッフがアテンド。昼食付。釣り道具一式レンタル有り。
三嶺山雪山ハイキング	※実施主体との調整が必要(御杖村)	標高1,235mの三嶺山。山腹の不動の滝、氷の花霧氷見学。
サバイバルゲーム体験	ルートアイリッシュ(山添村)	自然の山々と元旅館跡を利用した奈良県唯一の屋内・屋外を兼ね備えた複合型フィールドでのサバイバルゲーム体験。
寿司体験	醍醐(名張市)	巻き寿司、握り寿司づくりの体験。
サイクリング体験	サイクルプロショップリコ(名張市)	圏域の自然の中でのサイクリング体験。アテンド1名が同行。レンタサイクル有り。出発地と人数により随時圏域各所でのコースを設定。

ドン・キホーテUNY名張店にENN情報発信コーナーを設置しました!

2019年9月3日にオープンしたドン・キホーテUNY名張店さんのご協力により、店内1階フロアに当圏域の観光情報発信コーナーを設置しました。

圏域6市村の観光パンフレットを中心に、様々なイベント情報も発信しています。

外国人も多く訪れており、インバウンド誘客にも大いに期待しています。



㊦ ツアーの企画・造成

観光資源調査やモニターツアーの実施、さらには着地型体験メニューの造成を経て、それぞれの資源を組み合わせた着地型ツアーのモデルコースの企画・造成を行いました。

これらのモデルコースをベースにファミトリップや国内外で開催される旅行商談会等でのセールスを通じ、旅行代理店や消費者など関係者の声を参考に、随時、観光客の需要に応じたコースの見直しも行っていきます。

[自然観光]

○東吉野村(高見山登山 上級編) ※出発到着地同所(往復) 各地～登山口～高見山登山～登山口～たかすみ温泉(入浴)～天好園(夕食)～各地 0:00 6:00 6:10 9:00 所要時間：9 時間
○曾爾村(鎧岳、兜岳トレッキング 中級編) ※出発到着地は同所(周遊) 各地～登山口～鎧岳/兜岳トレッキング～登山口～お亀の湯(入浴)/(食事)～各地 0:00 6:00 6:30 9:00 所要時間：9 時間
○御杖村(三峰山登山 初級・中級) ※出発到着地同所(往復) 各地～登山口～三峰山トレッキング～登山口～姫石の湯(入浴・食事)～各地 0:00 4:30 5:00 8:00 所要時間：8 時間
○曾爾村(住塚山・国見山トレッキング 中級編) ※出発到着地同所(周遊) 各地～屏風岩～住塚山～国見山～屏風岩～お亀の湯(入浴・食事)～各地 0:00 4:30 5:00 8:00 所要時間：8 時間
○名張市(香落溪～赤目四十八滝トレッキング初級編) ※出発到着地別(片道) 各地～紅葉亭～山道～出合～赤目四十八滝～赤目温泉(入浴・食事)～各地 0:00 4:00 4:10 6:30 所要時間：6 時間 30 分

[文化/体験観光 (地域と触れ合う旅)]

○東吉野村～宇陀市～各地 各地～丹生川上神社～無玄関～高見山荘(食事)～ 0:00 1:00 1:30 2:40 3:30 ～松山地区散策…酒蔵見学～ 各地 4:00 6:00 所要時間：6 時間
○山添村～各地 各地～フォレストパーク神野山(昼食)～茶摘み体験～各地 0:00 2:30 3:00 5:00 所要時間：5 時間

㊦ 旅行代理店を通じたツアーの受け入れ

当圏域の観光資源を中心に旅程を組み、実際に提案し催行されたツアーの受け入れを行いました。

受入日	場 所	内 容
2018年4月13日	名張市	青蓮寺の地蔵院見学（住職の説法、昼食） 企画 近畿日本ツーリスト及び英国トラファルガー社 ツアー参加者 21名
2018年6月22日	名張市	青蓮寺の一般家庭での昼食とお抹茶体験 企画 近畿日本ツーリスト及び英国トラファルガー社 ツアー参加者 10名
2019年6月28・29日	名張市・曾爾村	イタリア食科学大学・大学院の視察研修 1日目 伊賀の酒蔵及び畜産農場の見学 レストラン奥田での昼食と伊賀牛の学習 はなびし庵での影絵と利き酒体験 森のレストランアーチでの夕食と懇親会 青蓮寺レークホテル泊 2日目 赤目四十八滝での薬草観察 曾爾村「大和当帰葉プロジェクト」視察 曾爾高原ファームガーデンでの昼食 大和当帰葉を使った調理体験 賛急屋で夕食と懇親会 青蓮寺レークホテル泊 企画 東奈良名張ツーリズムマーケティング ツアー参加者 34名



一般家庭での昼食の様子



はなびし庵(名張市)での利き酒体験の様子

③ プロモーション・セールス

ア WebサイトやSNSによる情報発信

ENNでは、WebサイトやSNS（フェイスブック、インスタグラム、ツイッター）を活用して、日本語と英語の2つの言語により継続的に情報発信を行っています。

公式サイトのアクセス数では、日本に次いでアメリカやフランスからのアクセス数が多くなっています。

フェイスブックでは、2019年夏以降に実施した広告の成果としてインドとフィリピンのフォロワーが急増し、既に3万人を超えています。言語別でみると日本語発信版へのフォロワーが約300人に対し、英語発信版には約100倍となる3万人のフォロワーがいます。

サイクリングやシャワークライミング・滝行、霧氷登山など自然体験に関する投稿への評価が高く、ドローンを使用した空撮動画投稿は最も評価が高くなっています。

外国人観光客の多くがスマートフォンを使って様々な旅情報を得ている中、有効な情報発信ツールが確立できました。

・公式Webサイトへのアクセス数

(2018.3~2019.3.7 (2019.2~2019.6を除く))

ページビュー	30,289人
ユーザー	9,652人
日本	6,468人
アメリカ	725人
フランス	335人
シンガポール	318人
台湾	149人
タイ	135人
フィリピン	131人
オーストラリア	127人
韓国	113人
香港	102人

・公式フェイスブックフォロワー数

(2020.3.7 現在)

フォロワー数	32,717人
インド	15,832人
フィリピン	15,087人
日本	799人
アメリカ	303人
フランス	77人
ネパール	75人
オーストラリア	74人
サウジアラビア	73人
カナダ	54人



①リーフレット、ポスター等の作成

当圏域のPRや国内外の商談会等でのセールスのため、日本語、英語、中国語のリーフレットやポスターを作成しました。



②動画撮影

当圏域のPRのため、ドローンを使った空撮動画を作成しました。

赤目四十八滝、室生芸術の森山上公園、曽爾高原、神野山などの紅葉を中心とした秋バージョン、三峰山、高見山の雪山の魅力を伝える冬バージョン、圏域6市村の桜の名所を紹介する春バージョンの3作品を制作し、公式ホームページやSNSでの配信や、商談会会場での上映などで効果的に活用しています。

③桜キャンペーン

当圏域の“桜”をメインとしたプロモーションキャンペーンを実施しました。

期間：2018年3月19日～2018年4月30日

内容：デジタルサイネージ

圏域6市村の観光パンフレット設置

場所：関西国際空港第1・第2各ターミナル、
関西ツーリストインフォメーション、
近鉄難波駅、大阪地下鉄なんばコンコース、
南海なんばギャラリー、あべのハルカス前広場



関西国際空港デジタルサイネージの様子

④イスラエル大使館との交流コンサート

2018年9月22日、室生芸術の森山上公園においてイスラエル人アーティスト「バターリングトリオ」によるコンサートを開催し190名の方々に来場いただきました。岐阜県の「杉原千畝記念館」に多くのイスラエル人が訪れている中、イスラエル人のダニ・カラヴァンがデザインしたモニュメントがある当公園を会場としたことで、協力いただいたイスラエル大使館とも深い交流を図ることができました。



コンサート当日の様子

⑦商談会への出展等を通じた国内外旅行代理店へのセールス

国内外で開催された旅行商談会等への参加を通じ、旅行代理店などへのセールスに取り組んできました。

この取組により、国内外の旅行代理店との繋がりができ、継続した商談や着地型観光商品の紹介、ファムトリップの誘致など今日の発展的な事業展開に大いに貢献しています。

実施日	実施場所	内 容
2017年6月27日	三重県鳥羽市	ベトナム商談会参加
2017年9月23日	東京ビッグサイト	ツーリズムEXPOジャパン2017出展
2017年11月15日	タイ	現地商談会参加
2018年9月20～22日	東京ビッグサイト	VISITJAPAN トラベル&MICE マート 2018 出展
2019年1月22日	三重県津市	ムスリム圏旅行会社商談交流会参加
2019年2月2～4日	オーストラリア	2019World Travel Expo in シドニー出展・商談
2019年2月4日	大阪	関西観光商談会出展
2019年6月5日	韓国	2019 VISITJAPAN 韓国市場相談会出展
2019年9月4～6日	台湾	第6回台湾商談会参加
2019年9月14～17日	中国	中国四川省旅行業協会との商談会実施
2019年10月1～4日	フランス	IFTM Top Resa [BtoB 国際旅行見本市] 資料提供
2019年10月24～27日	大阪	ツーリズムEXPOジャパン2019出展 同時開催のVJTM 三重県ブースにて商談実施
2019年11月25日	マレーシア	訪日旅行セミナー・商談会参加
2020年1月16～19日	フィンランド	MA TKA2020 出展
2020年2月7～9日	フィリピン	Travel Tour Expo2020 出展



2019 VISITJAPAN 韓国市場相談会の様子



ツーリズム EXPO ジャパン 2019 の様子

④ファミトリップ(現地視察旅行)の開催を通じたセールス

依頼先の要望をベースに、依頼先の国の習慣や嗜好などの傾向を踏まえたうえで視察コースを企画し、ファミトリップを行いました。

こうした取組を通じ、海外の旅行代理店等に対して圏域の魅力と様々な景勝地や食、宿泊施設等を体験いただき、各社が企画するツアーに盛り込んでいただくようセールスを行ってきました。

2020年1月に実施したファミトリップでは、タガージャパンが2020年7月に予定しているベトナムからの学生旅行企画(60名程度)のオファーをはじめ、他2社においても既に当圏域での観光と宿泊を含めた商品化を進めています。

実施日	内 容
2018年2月20～21日	[参加者] イスラエル大使館 室生山上公園芸術の森 ほか
2018年3月5～9日	[参加企業] AA トラベルサービス(タイ) (株)アサヒトラベルサービス(東京) N.S.トラベル&ツアーズ(タイ) ゴーホリデー・ツアー(タイ) サイアム・オーチャード・グループ(タイ) ジャドテンパック・ツアー(タイ) [視察先] 圏域の景勝地見学のほか、狂言見学(山添村)、いちご狩り体験(名張市)、三季館こんにやく作り体験(御杖村)、漆箸仕上げ体験(曾爾村)、円覚寺座禅体験(東吉野村)、芳村酒造酒蔵見学(宇陀市) など ○3/5 19時から対泉閣(名張市)にて歓迎レセプションを開催
2018年4月23～25日	[参加企業] (株)ラティーノ(東京) [視察先] 長久寺(山添村)、中内組紐工房(名張市)、曾爾ファームガーデン(曾爾村)、ゲストヴィラ逢桜(東吉野村)、春日印伝店(宇陀市) など
2018年6月19～21日	[参加企業] (株)ジャンボツアーズ(沖縄) [視察先] 鍋倉溪・めえめえ牧場(山添村)、ゆめの里かずら焼酎製造見学(曾爾村)、御杖神社・半夏生園(御杖村)、大宇陀松山地区散策(宇陀市)、丹生川上神社・ひよしのさと(東吉野村)、赤目四十八滝(名張市) など



鍋倉溪(山添村)視察の様子

実施日	内 容
2018年6月5日	[参加企業] ㈱トッパントラベルサービス(東京) [視察先] 鍋倉溪・天狗岩(山添村)、宇流富志禰神社ほか市街地散策(名張市)、室生山上公園芸術の森(宇陀市)、あまご池高見山荘(東吉野村)、三季館・不動の滝(御杖村)、ねんりん舎・民宿2・7(曾爾村) など
2019年11月18～21日	[参加者] チャイサポアカデミー(メディア業・東京)の現地取材 [視察先] 室生寺・大宇陀松山地区散策(宇陀市)、ゲストヴィラ逢桜(東吉野村)、曾爾ファームガーデン(曾爾村)、みつえ高原牧場星空見学(御杖村)、赤目四十八滝キャンプ場(名張市)、冒険の森(山添村) など
2020年1月28～31日	[参加企業] カセルトラベルソリューションズ(フィリピン) ㈱タガージャパン(東京) ベトナムジャパンサービス&コマース(ベトナム) ライオントラベル(台湾) [視察先] めえめえ牧場(山添村)、赤目四十八滝忍者の森・MEGAドン・キホーテUNY(名張市)、丹生川上神社・ゲストヴィラ逢桜(東吉野村)、奈良カエデの郷ひらら着付け体験(宇陀市)、御杖体験交流館コーヒー焙煎体験(御杖村)、そに木霊リゾートTAWA・全7宿泊施設見学(曾爾村) など ○1/28 18時から森のレストランアーチ(名張市)にて歓迎レセプションを開催



コーヒー焙煎体験(御杖村)の様子



歓迎レセプションの様子

④ 環境整備

⑦おもてなし等スキルアップセミナーの開催

宿泊施設等観光関連事業者を対象に、おもてなし等スキルアップセミナーを開催しました。ENN独自で作成した“おもてなしパンフ”を使い、集客のための手法や受入環境づくり等について、具体的な学びとなるよう実践を交えた内容を企画しました。計20回開催し、延べ428人の関係者の皆さんに参加をいただきました。

テーマ	開催日	場所	参加人数
おもてなし講座 [講師] ENN 渡邊 " 森下	2017年11月28日	御杖村	12名
	2017年12月15日	曾爾村	13名
	2017年12月16日	宇陀市	42名
	2017年12月17日	名張市	53名
英会話ワークショップ [講師] ティム・ ほか ALTの皆さんなど 延べ名	2018年11月10・17日	曾爾村	延べ19名
	2019年3月3・10日	御杖村	延べ17名
	2019年6月30日	山添村	10名
	2019年7月7・21日	名張市	延べ28名
	2019年7月20・28日	宇陀市	延べ12名
2019年8月18日	曾爾村	3名	
キャッシュレス決済セミナー [参加企業] PayPay(株)、(株)Origami、(株)メル ペイ、Line Pay(株)、楽天(株) 協力:名張商工会議所 (株)百五銀行	2019年6月10日	名張市	79名
食の多様性セミナー [講師] フードダイバーシティ(株) 代表 守護彰浩氏	2019年9月9日	名張市	23名
	2019年9月10日	宇陀市	18名
SNS活用セミナー [講師] 多田EC支援事務所 所長 多田優之氏	2019年12月16日	名張市	35名
	2019年12月17日	宇陀市	30名
	2019年12月18日	曾爾村	19名

※2020年2月27・28日に開催を予定していた民泊・農泊セミナー(講師:株)百戦錬磨大野彰則氏)は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止しました。



食の多様性セミナーの様子



英会話ワークショップの様子

①講演会の開催

宿泊施設や体験受入施設等観光関連事業者を対象に、外国人観光客の誘客を踏まえてこれからの観光振興を考えていくための講演会を開催しました。

計7回開催し、延べ400名を超える関係者のみなさんに参加をいただきました。

テーマ	開催日	場所	参加人数
訪日外国人受入ガイド養成 〔講師〕 通訳案内士 野村秀樹氏・櫻井健氏	2018年1月20日	宇陀市	47名
フランス人から見た日本文化 〔講師〕 近藤忠彦氏	2018年2月10日	名張市	49名
オーストラリアから見た日本の地方観光開発 〔講師〕 駐大阪オーストラリア総領事 デビッド・ロソン氏	2018年2月24日	宇陀市	80名
観光学入門 〔講師〕 大阪成蹊大学マネジメント学部 観光ビジネスコース主任教授 松田充史氏	2018年3月10日	名張市	49名
地域と共に創るこれからの観光 〔講師〕 (株)観光ビジネスコンサルタンツ 代表 西川丈次氏 一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長 多田稔子氏 (株)体験教育企画 代表 藤澤安良氏	2019年3月1日	名張市	100名
	2019年3月6日	山添村	50名
	2019年3月17日	宇陀市	41名



山添村で開催した講演会の様子



宇陀市で開催した講演会の様子

4) 3年間の活動から見えてきた成果と課題

①観光市場調査

成 果

既存観光関連データの集計・分析に加えて、宿泊客や宿泊事業者を対象にアンケート調査等を実施しました。宿泊客を対象にしたアンケートでは、来訪回数や来訪目的など国内外の宿泊客の実態を把握することができました。また、宿泊事業者を対象にしたアンケート調査では、国別の来訪状況を季節ごとに把握することができました。

さらに、2019年度にはモバイルアンケートによる観光客のデータ収集を行う仕組みを構築しました。これまで宿泊施設のみで紙の調査票で実施していた調査が、圏域の宿泊施設や観光案内所など35箇所からアクセス可能となる仕組みの構築により、幅広い施設を対象に効率的に実施することが可能となるだけでなく、設問等を随時変更できるなど臨機応変に対応できるようになりました。観光客の当圏域での周遊状況や評価を把握できる設問のほか、観光庁の日本版DMO法人登録申請に必要な設問などを網羅し、今後の取組を推進していくために有効な基礎データを収集することが可能となりました。

課 題

取組の基礎資料となる観光関連データの収集や分析が定期的に継続して行われていないことが課題です。例えば、宿泊事業者を対象にしたヒアリング調査なども一時的な取組とせず、継続的に実施していく必要があります。また、施設別の外国人観光入込客数データなどの収集が一部の施設に留まっていることや、Webサイトの解析等の有効活用ができていないことも課題です。こういった基礎データの構築が、今後の取組の重要な基礎となることを十分に理解し、行っていく必要があります。

さらに、新たに構築したモバイルアンケートについても回収数が少ないため、観光客が回答しやすい仕掛けづくりや協力施設の増加等により回収数をあげるための取組が必要です。

②観光商品の企画・開発

成 果

当圏域の観光関連資源の調査を行うなかで、シャワーライティングや忍者修行体験など外国人観光客の関心が高い既存メニューを組み込んだツアー企画のほか、ハイキングや鮎釣り、サイクリングといった自然体験メニュー、寿司づくりやかたやきづくりといった文化的な体験メニューを新たに造成しました。また、茶摘みなどと組み合わせた住民との交流を重視したメニューの企画や、「漆」や「大和当帰葉」などの薬草、「能・狂言」などの地域性・独自性が高い資源への着目など、新規性のある商品企画・造成に取り組むことができました。

これらの取組により、四季を通じて地域性を楽しむことができる広域周遊ツアー

の造成に向けた素地ができたことが成果としてあげられます。さらに、これらのメニューを組み合わせた広域での周遊ツアーを企画し、外国人観光客を対象としたモニターツアーや観光関連事業者等を対象としたファムトリップを複数回実施し、その声をメニューづくりに活かすことができたことも大きな収穫です。

課 題

メニューの企画・造成にとどまり、安定して継続的に販売することができる商品化やその販売による手数料等の自収入を得るに至ることができませんでした。

今後は、商品・サービスの提供事業者や交通事業者、地域住民等も含めた協議を進め、受入体制や料金設定などを含め、安定かつ継続的に提供できる旅行商品をつくりあげ、さらにはE N Nとして一定の手数料等の収入を得ていくためのスキームを整理していくことが必要です。

また、広域である優位性を生かし、それぞれの観光資源（点と点）を線で結び、歴史や文化等に裏付けられたストーリー化によるコンテンツの深化、多様化によるブラッシュアップが必要です。

③ プロモーションとセールス

成 果

英語で発信しているWebサイトへの外国人からの問い合わせが増えており、特に公式フェイスブックでは、2017年11月時点で72だったフォロワー数が現在33,117人（2019年11月14日時点）となりました。外国人観光客の多くがWebサイトやSNSから情報を得ている中、需要に合った日英2か国語での情報発信ツールが確立できたことは大きな成果と言えます。

また、公式サイトへの国別アクセス数をみると日本国内からのアクセスが最も多く、言語別では日本語ユーザーと日本語以外の言語ユーザーとがほぼ半々となっていることから、効果的な発信ができていていると考えられます。

また、国内外の旅行商談会への出展等により、圏域の観光資源と組織の認知度が向上しています。国内外からの観光客や旅行代理店等からの問い合わせも徐々に増えています。さらに、三重県や奈良県、日本政府観光局等関係団体との連携が強化されてきたことも、今後も引き続き活動を継続していくうえでの重要な成果です。

課 題

これまでは幅広い対象に向けた情報発信やセールスが中心となっており、ターゲット層を明確にした戦略的な取組が不足していることが課題です。市場調査の分析結果や過去のプロモーションの状況を踏まえて、ターゲット層ごとに、適した商品を絞り込み、効果的なプロモーションを行っていくことが必要です。

また、外国人観光客や旅行代理店等からの問い合わせや相談が増加していることを踏まえ、相談対応や体験サービス等の予約、宿泊施設の手配など対応を一元化し、管理できる仕組みを検討していくことが必要です。

④ 観光客の受け入れ環境整備

成 果

E N Nが主催したセミナーや講演会に対し、圏域の関係者延べ約 900 名に参加をいただきました。こうしたセミナーを通じた訪日外国人誘客のための情報や知識の向上、さらには関係者の意識の醸成という点で一定の成果を感じています。

また、セミナーなどのほか体験メニューづくりや周遊ツアーの企画を通じて、圏域でのE N Nの認知度の向上と観光関連事業者等とのネットワークや信頼関係が構築されてきました。

課 題

観光関連事業者等との連携がまだまだ十分とはいえません。E N Nの取組が、圏域の観光関連事業者にとって有益であること、そのために圏域での連携を強化していく必要があることを十分に認識してもらうことで、圏域一体となった外国人観光客を受け入れていくための環境をさらに高めていく必要があります。

5) 重要業績評価指標（K P I）からみる課題

これまでの3年間、E N Nの事業財源としてきた地方創生推進交付金の申請に係る地域再生計画に掲げる重要業績評価指標（K P I）の結果は次のとおりです。

当圏域を訪れる観光客は、文化や歴史にふれる景勝地の散策や、自然をフィールドにしたトレッキングなどのアクティビティを主な訪問目的としています。そのため、2017年10月の台風20号・21号、2018年7月の台風12号、2019年10月の台風19号などのほか、近年のゲリラ豪雨や週末ごとの雨など影響を受け、観光客が大きく減少しました。くわえてE N Nの取組が、当圏域の観光入込客数の増加に直接的に大きな影響を与えることが出来なかったことも確かであり、今後の取組に向けて大きな課題を残す結果となりました。

	基準値 (2015年度)	2017年度	2018年度	2019年度
当圏域の観光入込客数(人)	3,799,374	3,895,000 3,745,869	4,030,000 3,649,712	4,215,000 3,666,132
赤目四十八滝を訪れた外国人の数(人)	3,302	4,000 2,924	5,000 2,904	7,000 3,200
E N Nの旅行企画への参加者数(人)	0	500 61	1,050 131	1,650 221

※各年度、上段は目標値、下段は実績値。2019年度は見込みで記載。

6) E N Nの継続運営の必要性

E N Nは、本年度末をもって、国の地方創生推進交付金を財源にした3年間の取組を終えることとなります。当初目指していた観光庁の日本版DMO法人登録は現段階においては見送ることとしたほか、荒天等の外的要因も加わり圏域の観光入込客数が減少したことなど、目標達成に至ることができませんでした。

しかし、その一方で、DMOに必要なデータ収集のための基盤が確立できたこと、また、欧米系F I Tを主要なターゲットとした「アドベンチャーツーリズム」というメインコンテンツを導き出し、様々な着地型体験メニューを造成できたこと、さらには圏域の魅力を多言語により海外へ情報発信するためのツールが確立できたことなどは大きな成果と言えます。加えて国内外からの注目度と、セミナー開催等を通じた圏域関係者の外国人観光誘客に対する機運、さらには圏域の関係者からのE N Nに対する期待度は確実に高まってきています。

また、観光入込客数自体は近年減少傾向にある中、赤目四十八滝を訪れる外国人の数は横ばいあるいは微増しており、全体の入込客数に占める割合は増加しています。忍者の森での修行体験を楽しむ外国人は、2016年度には約300人程度でしたが、2018年度には509人にまで増えています。こうした状況とENNの取組との直接的な因果関係は立証できませんが、今後さらに外国人誘客に注力していくことの必要性を感じさせる状況であることには違いはないと考えています。

とりわけ外国人観光誘客に関しては、単独自治体での取組とせず、地域資源を組み合わせ、より広域で取り組んでいくべきであり、国もそれを推奨しています。

E N Nは、単なる複数の自治体の連合体ではなく、奈良と三重の二つの県をまたがった組織であることも大きなメリットであり、一般財団法人奈良県ビジターズビューローと公益社団法人三重県観光連盟といったそれぞれの県下全域で事業展開を行う団体との連携により、益々効果的な取組が可能となります。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに加え、2025年の大阪・関西万博やI R誘致など、今後関西地方を訪れる外国人観光客の増加が期待されています。また、外国人観光客の都市部から地方へ、さらにこれまで訪れていない場所や体験していないことへ流れる傾向にもあります。こうした関西を訪れる外国人観光客を当圏域に呼び込み、圏域での消費拡大を促していくことが、今後の当圏域の観光振興と地域経済の活性化に必要です。

したがって、E N Nは国からの交付金が終了した後も、必要最小限の予算と人員によって取組を継続し、今後ますます民間事業者や関係団体との連携を強化することで、効果的かつ戦略的な事業展開を図り、当圏域への訪日外国人の誘客による観光産業の振興と経済発展の一翼を担っていく必要があります。

3 今後の取組方針

1) 取組期間

本ビジョンに基づく取組の期間は、2020年4月から2025年3月までの5年間とします。

2) 基本方針

E N Nは、当圏域における観光に関わる各種団体、事業者、行政等の「連携を強化・促進」し、主に外国人観光客をターゲットとした「ブランディング」を推し進め、誘客による「交流人口の増加」を図ることで地域全体の稼ぐ力を向上させ、持続可能な観光事業の推進と地域経済の活性化を目指します。

3) E N Nの役割

E N Nは、引き続き当圏域において主に次の4つの役割を担います。

○観光市場調査

観光を取り巻く社会情勢、観光客の動向と需要、圏域の観光入込客等の状況等に関する調査・分析

○観光商品・サービスの充実

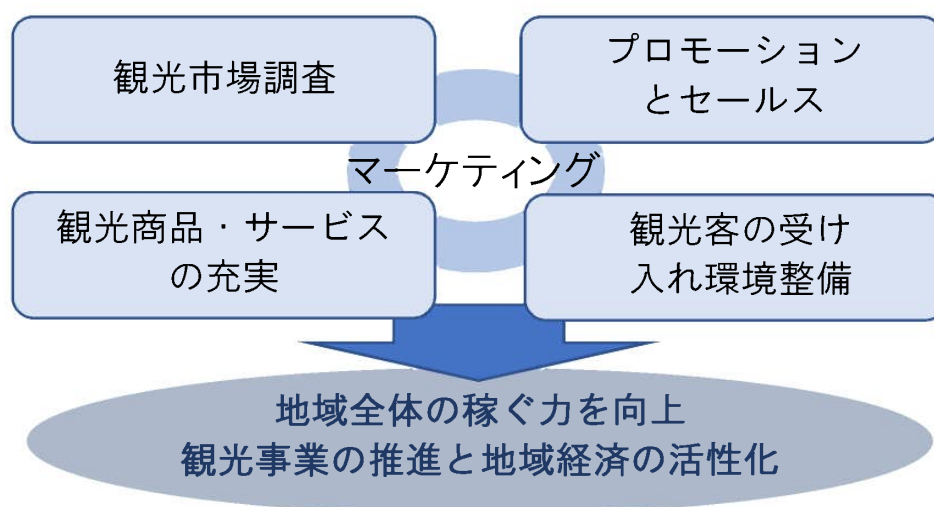
観光市場調査等を踏まえた観光商品づくりと既存商品の磨き上げ

○プロモーションとセールス

圏域の魅力と観光商品の国内外への情報発信と旅行代理店等へのセールス

○観光客の受け入れ環境整備

外国人を受け入れるための関係者の気運醸成、スキル向上、多言語化等おもてなしの環境づくり



4) 組織の体制と他団体との関係性

① 組織体制

E N Nは、今後も圏域6市村の首長が役員を務め、引き続き行政が主体となって組織を形成します。さらに、国の交付金の終了に伴いプロパー職員の雇用が困難になるなど、これまでのように十分な人員体制を確保できなくなるため、今後は圏域6市村の担当職員が中心となり組織運営と本ビジョンに掲げる取組を推進していくこととなります。実際には専門的な業務となるため、民間事業者等との連携や業務委託の手法を取り入れるとともに可能な範囲での専門人材の雇用も含め、より戦略的で効果的な運営を目指していきます。

また、圏域6市村の観光協会や観光関連事業者はもとより、商工関連団体や企業等と連携・協働により、地域一体となった取組を推進していきます。

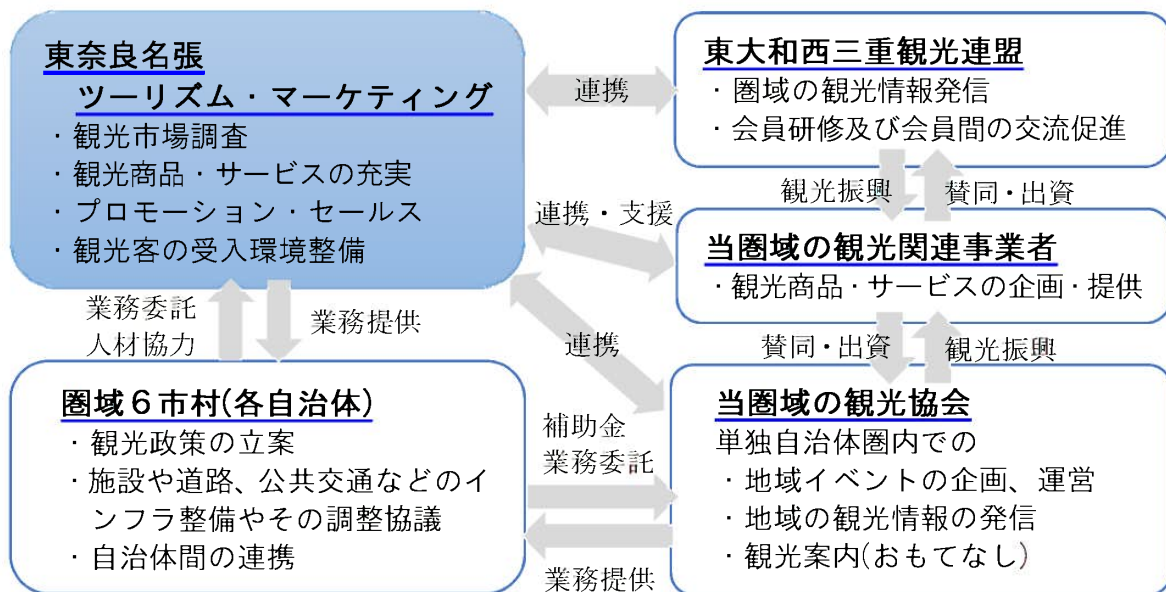
② 他団体との関係性

取組の推進にあたっては、圏域6市村及び各観光協会をはじめとする他団体や関連事業者との関係において、それぞれの役割を明確にしたうえで効果的な連携を図っていく必要があります。

E N Nは、圏域を包括したマーケティングに基づき、主に外国人を中心とした観光誘客の拡大を目的とした事業に取り組めます。圏域6市村の観光協会は、それぞれのエリアで地域に根差した情報発信やイベント開催、観光客のおもてなしを担います。

また、E N Nとほぼ共通する圏域で観光振興に取り組む東大和西三重観光連盟（会長は名張市長）とは、特に連携を強化し事業内容の整合性を図っていきます。

こうして役割分担を明確にしながらも、事業の展開にあたっては大いに連携を図り、将来的には組織機能の連携や業務の一元化等も視野に入れて取組を進めます。



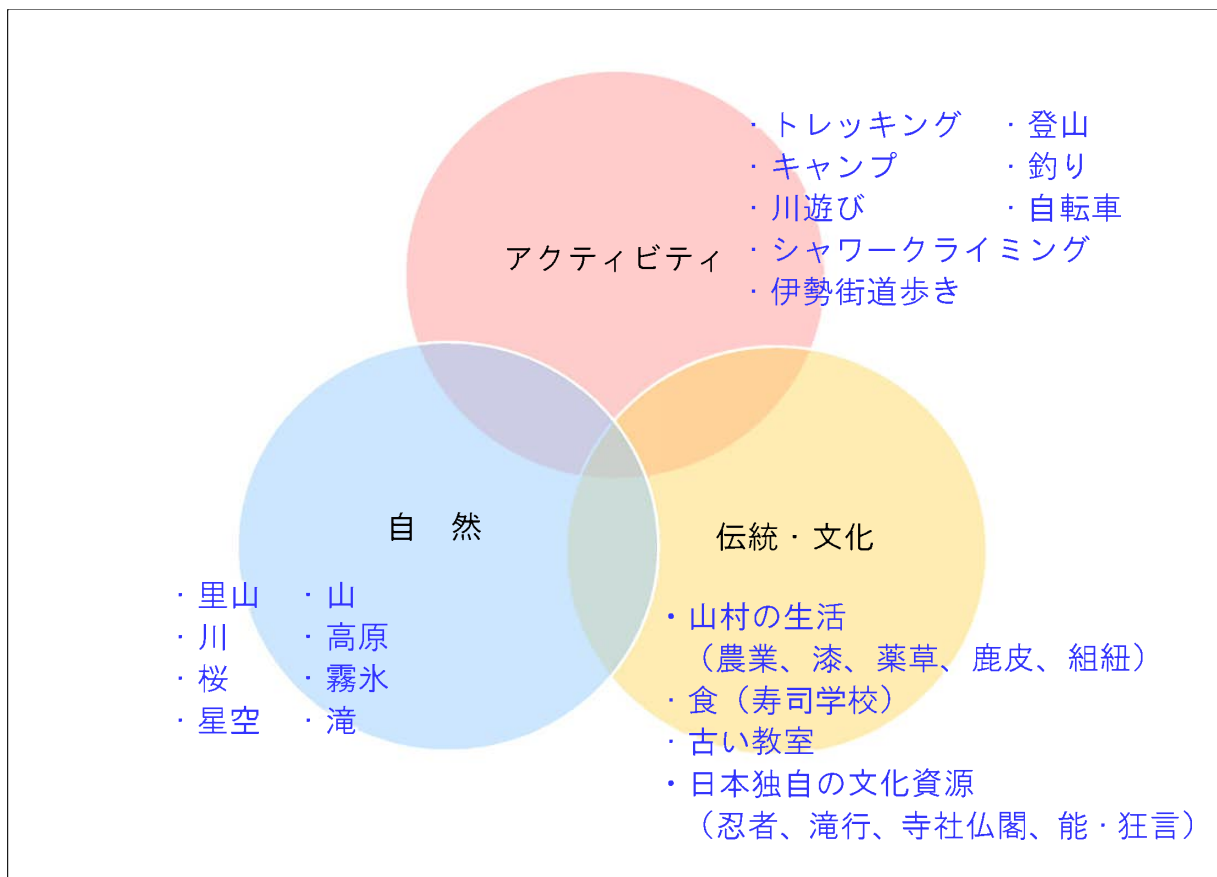
[参考] 東大和西三重観光連盟

- ・奈良県宇陀市、曽爾村、御杖村、三重県津市、伊賀市、名張市で構成
- ・近畿日本鉄道㈱をはじめ 33 団体が賛助会員として加盟（2019 年度現在）

4 具体的な戦略と施策

1) 基本コンセプト

E N Nは、当圏域の豊かな「自然」、地域に古からつたわる「伝統と文化」、大自然をフィールドにした多彩な「アクティビティ」といった三つの地域資源を柱とした、『アドベンチャーツーリズム』を基本コンセプトに、ここでしかできない+αの「体験」を通じて当圏域の自然や文化に触れていただくことのできる観光コンテンツと商品づくりを進めることで他地域との差別化を図り、当圏域の持続可能な発展と地域経済の活性化を目指します。



2) 主とするターゲット

① 関西を訪れる外国人観光客

2025年の大阪・関西万博やIRの誘致など、関西地方を訪れる外国人観光客の増加が見込まれています。加えて、関西国際空港と中部国際空港の中間に位置し、大阪、神戸、京都などの観光地から好アクセスといった地の利を生かし、主に関西を訪れる訪日外国人を当圏域に誘客する取組を重点的に行います。

また、主なターゲットは外国人としながらも、国際情勢などに影響されず観光産業を安定的なものとしていくため、日本人観光客の拡大も含めた事業展開を行っていきます。

② 訪日外国人ターゲット層の設定

圏域の観光資源や現状の外国人観光客の動向を踏まえ、ターゲット層を下記のとおり設定し、戦略的に誘客を図ります。

国や地域と客層		位置づけ
第1 ターゲット	欧（フランス）・米・豪の個人旅行者	新規層の獲得：観光客のニーズに地域の特性が合致し、来訪を期待する層
第2 ターゲット	台湾・香港・フィリピンの個人旅行者	新規層の獲得：訪日リピーター率が高く、冬を中心に来訪を期待する層
第3 ターゲット	台湾・タイの団体（教育旅行）客	既存客からの拡大：既存ネットワークからの客層の広がりが期待できる層
第4 ターゲット	中国の団体客	既存客の増加：一定数の来訪、経済効果があり、来訪を促しやすい層

③ 各ターゲット層の嗜好や特徴

㊦第1ターゲット

○欧（フランス）・米・豪の個人旅行者

欧（フランス）は日本の歴史や伝統文化、日常生活の体験に関心が高く、アドベンチャーツーリズムのターゲットとして合致します。地方滞在や一人旅も多い傾向にあります。圏域の民泊は、日本家屋で日本の生活を味わいながら宿泊するスタイルが多いため、ターゲットの宿泊スタイルとしても適しています。

また、ENNの公式Webサイトへのアクセス数も高く、インターネット検索した固有名詞では、赤目四十八滝、室生山上公園芸術の森の検索が多くなっています。他にも組紐やしだれ桜、霧氷などの検索も多いですが、全体的に突出するものがなく、自然や文化への関心が多岐にわたる傾向がみられます。

米・豪は、自然をフィールドにしたアクティビティに対する関心が高く、ターゲットとして合致します。また、地域住民との交流を好む傾向にもあります。比較的安価なビジネスホテルや民宿を好むことから、圏域の宿泊施設とも合致しています。

アメリカはENNの公式Webサイトへのアクセス数が最も多い国であり、その検索ワードでは、赤目四十八滝や室生山上公園芸術の森のほか、霧氷やシャワーク

ライミング、彼岸花、雑巾がけなど多岐にわたっています。赤目四十八滝を訪れる外国人のなかで最も多い国であり、名張市内で多くの宿泊がみられます。

オーストラリアは、アメリカ以上に自然を楽しむ傾向にあります。また、一般財団法人奈良県ビジターズビューローが欧米豪をメインターゲットとしているため、連携を図ることで効果的に誘客を図っていくことも可能です。

④第2ターゲット

○台湾・香港・フィリピンの個人旅行者

いずれの国も訪日者数、リピーター率も高く、地方観光への需要が高くなっています。四季が無い地域のため、桜や紅葉、雪に対する関心も高いことから、圏域の観光資源とも合致しています。

台湾は欧米や東南アジアに比べると団体旅行の割合が高いですが、近年、個人旅行への移行も進みつつあり、圏域でも台湾からの個人旅行者とみられる来訪者が散見されています。インターネットで検索では赤目四十八滝、組紐、桜、中には天空の庭高見の郷など具体的な地名検索も多くみられます。親日国であり、三重県も誘客に注力しています。

香港は個人旅行者の割合が高い国です。現時点では有名観光地を訪ねる傾向にあります。近年、地方観光への移行が見込まれています。フィリピンと台湾は、訪日の際にレンタカーを利用する割合が高いことも特徴です。

フィリピンでは今、日本ブームとなっており、近年来訪者も急増しています。E N Nのフェイスブックをみても、2019年夏以降急増し現在15,000人を超えています。特に冬の景観や体験へのニーズが高いため、圏域の雪山などの観光資源が活用できます。来日には、ビザが必要となります。

⑤第3ターゲット

○台湾・タイの学校関係団体

御杖村における木造建築でのタイの大学との交流、山添村における茶での台湾の小学校との交流など、既に当圏域においてタイや台湾との国際交流実績があり、こうした交流がきっかけで、今後は旅行者としての来訪を期待することができます。特に、台湾は日本への教育旅行の人気の高いため、教育旅行等の働きかけを行うことが効果的です。

また、三重県が特に誘客に注力している国であるため、連携を図ることで効果的に誘客を図っていくことも可能です。

⑥第4ターゲット

○中国の団体客

中国からの訪日客は最も多く、2019年には全体の3割を占めており、今後も来訪者の増加が期待できます。団体での訪日が多く、一定の集客と経済効果に期待できます。大阪、奈良、京都はもちろん隣接の伊賀市にも多くの中国からの団体客が訪れています。長期的には個人旅行にシフトしていくとみられ、将来的には個人客としての来訪も期待することができます。

3) 目標値の設定

ビジョンの最終年である 2024 年度の目標数値を下記の通り定め、P D C A サイクルに基づき毎年度点検を行い、目標達成に向けた的確な進行管理に努めます。

項目	現状値 (2018 年度)	目標値 (2024 年度)	集計方法	
① 当圏域を訪れた観光客の延べ数	3,649,712 人	3,800,000 人	各市村の観光入込客数の合算	
② 当圏域を訪れた外国人観光客の延べ数	4,204 人	10,000 人	赤目四十八滝と室生寺を訪れた外国人数の合算	
③ 当圏域観光客のリピーター率	74.0%	80.0%	WEB 調査で来訪回数が今回で 2 回目以上と答えた人の割合	※
④ 当圏域の延べ宿泊者数	—	—	宿泊事業者へのアンケート調査による集計	※
⑤ 当圏域での旅行消費額	340 億円 (@9,300 円/人)	380 億円 (@10,000 円/人)	WEB 調査の一人当たり平均消費額×当圏域を訪れた観光客の延べ数	※
⑥ 当圏域来訪者の満足度	75%	80%	WEB 調査で「大変満足」「満足」と答えた人の割合	※
⑦ E N N 公式ホームページ年間ユーザー数	2,705 人	13,500 人	サイトに訪れた人数・訪問者数	

注 1：※は観光庁の日本版 DMO 法人登録のための必須項目

注 2：③⑤⑥の現状値は 2019 年度（8 月～2 月）の WEB 調査実績値により設定

注 3：④は 2020 年度の実績により設定予定

[参考]

圏域 6 市村別観光入込客数の推移

	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
宇陀市	1,171,106	1,273,633	1,229,950	1,342,935	1,400,560	1,401,547	1,417,494
曾爾村	477,794	473,145	480,083	511,815	451,104	438,781	442,697
御杖村	30,572	33,786	28,789	103,904	96,666	94,190	86,586
山添村	—	—	—	255,474	282,472	243,243	219,196
東吉野村	296,417	299,595	306,601	323,196	322,005	338,588	396,782
名張市	936,996	1,248,622	1,125,063	1,296,565	1,255,634	1,229,520	1,086,957
合計	2,912,885	3,328,781	3,170,486	3,833,889	3,808,441	3,745,869	3,649,712

資料出所：宇陀市、曾爾村、御杖村、山添村、東吉野村、名張市

4) 具体的な戦略と施策

主に外国人観光客の誘客に向け、次の4つの柱に基づく取組を推進していきます。取組にあたっては、今後の事業予算の規模を鑑み、総花的に行うのではなく、観光市場の状況を踏まえながら適宜テーマやターゲットを絞り込み、常に関係団体や民間事業者等との連携を図りながら、単年度成果主義のもと効果的かつ戦略的な事業展開を図っていくこととします。

① 観光市場調査

効果的なプロモーションや商品・サービスの企画・造成につなげるため、多様なツールを活用して観光市場の調査と分析を継続的に取り組みます。調査や分析の結果は構成自治体や観光関連事業者等に対し還元も行っていきます。

㊦ モバイルアンケート調査

当圏域でのモバイルアンケート調査を継続的に実施し、今後は回収数の向上に向けた取組を強化します。また、調査項目については、観光関連事業者等にとってより有益なものとなるよう、必要に応じた見直しも行っていきます。

① デジタルマーケティング調査

E N Nの公式WebサイトやSNSへのアクセスをもとに、国別、年齢別などその傾向の調査と分析を行い、より効果的な情報発信と事業展開に繋がります。

㊦ 観光関連事業者へのアンケート・ヒアリング調査

観光関連データの収集と事業者とのネットワークとコミュニケーションを図ることを目的に、適宜、宿泊施設や飲食店等へのアンケートやヒアリングを行います。

② 観光商品・サービスの充実

観光市場調査をもとに関係者との協議を進め、安定かつ継続的に提供できる観光商品やサービスの充実に取り組みます。

㊦ 着地型観光商品・サービスの造成と磨き上げ

当圏域の観光資源を繋ぎ合わせ、新たな着地型観光商品やサービスの造成に取り組みます。また、多種多様化する観光客のニーズに合わせ、既存の観光商品やサービスの磨き上げにも取り組みます。

① モデルコースやプランの作成

歴史や文化のストーリー化やサイクリングコースの設定など、圏域周遊型のモデルコースやプランづくりに取り組みます。

㊦ モニターの実施

当圏域在住の外国人や留学生らの協力のもとモニターを実施し、そこで得た意見を観光商品づくりや磨き上げに生かしていきます。

③ プロモーションとセールス

テーマやターゲットを明確化し、国内外に向けた戦略的で効果的なプロモーションとセールスを行います。

㊦ Webサイト等での情報発信

ENN公式WebサイトやSNSを活用した情報発信を継続的に取り組みます。あわせてインフルエンサーや当圏域に来訪した又はお住いの外国人の協力による発信など、あらゆる手法を活用していきます。

㊧ 旅行商談会等への出展

国内外で開催される旅行商談会や旅行博覧会等への出展を通じた情報発信とセールスに取り組みます。一般財団法人奈良県ビジターズビューロー、公益社団法人三重県観光連盟等との共同出展など、より効果的な取組に努めます。

㊨ ファムトリップの実施

国内外の旅行代理店を中心にファムトリップを実施し、当圏域の魅力や観光商品やサービスを実際に体験いただき、効果的なセールスに取り組みます。特に日本国内に営業所等のある海外旅行代理店に対し積極的に呼びかけを行っていきます。

㊩ 宿泊施設等事業者との連携によるセールス

当圏域周辺で、既に多くの外国人観光客の誘客に成功している宿泊施設等事業者や一般財団法人関西観光本部など各種団体、ランドオペレーターらとの連携により着地型観光商品のセールスに取り組みます。

④ 観光客の受け入れ環境整備

外国人観光客を受け入れていくためのおもてなし力の強化とともに、取組を通じた関係者間のネットワークの構築にも繋げていきます。

㊦ 観光セミナー等の開催

当圏域の宿泊、飲食、物販、観光ガイド等を対象に、専門家による観光講演会やスキルアップセミナーを開催します。

㊧ 観光案内の多言語化

当圏域の観光関連事業者等が自主的に行う多言語での商品表記や観光客との簡易な会話マニュアル作成など外国人観光客の受入環境整備に対する側面的な支援を行います。また、ホームページや観光案内看板など、当圏域の観光案内ツールの多言語化に向け、圏域6市村での協議・調整に取り組みます。

㊨ 交通対策

当圏域内を訪れた観光客の二次交通と域内を周遊する道路状況を把握し、圏域6市村での対策・改善に向けた協議・調整に取り組みます。

5) 持続可能な取組に向けた組織力の強化

① 関係団体・観光関連事業者との協力体制の構築

地域一体となった取組推進のため、圏域6市村はもとより、各観光協会や商工会などの関係団体、宿泊事業者や飲食店、交通事業者等の観光関連事業者、さらには地域団体や住民、地域おこし協力隊など、観光振興に取り組む様々な主体との連携・協力体制を強化します。

② パートナー登録制度の導入

E N N設立当初規約に定めた「賛助会員」の制度を改め、年会費を必要としないパートナー登録制度を導入し、関係者との新たな連携の仕組みを構築します。

登録いただいたパートナーとは随時会合の場を持ち、情報や意見の交換を行いながら互いに協力・支援し合う関係性により各種事業を効果的に推進していきます。

③ 人材の獲得・育成

E N Nの組織運営と事業展開の中核を担う人材の獲得・育成に取り組みます。

④ 周辺地域の関係事業者・団体との連携

当圏域の周辺の外国人誘客に実績がある事業者や団体等との連携を図ることでE N Nの組織力強化に繋がります。

⑤ 自主財源の確保

E N Nの取組を持続可能なものとしていくため、国や圏域6市村からの公的財源のほか、旅行業を有する事業者やDMCとの提携や、ランドオペレーターの確保等により自ら手数料等の収入を得ていくスキームを構築していきます。

5 ENNが将来目指す姿

1) DMO法人設立を視野に入れた取組の推進

ENNは、今回の国の交付金の終了にあたり、設立当初目標としていた観光庁の日本版DMO法人への登録を一旦見送り、今後も引き続き構成する自治体の首長が役員を務め、圏域6市村の担当職員が中心となった運営を進めていきます。

当圏域の観光産業の振興による経済活性化を実現していくためには、国内外の観光市場の動向を十分に認識したうえで、そのニーズにあった観光商品やおもてなしのサービスを、関係者が一体となって提供していく必要があります。そのためには、マーケティングに基づく戦略的な取組を柔軟かつスピード感をもって推進し、かつ一定の公益性を持ちながら継続的に地域全体が稼ぐ仕組みを構築していくことが必要です。そして、その役割を担っていくのがDMOです。

ENNは、奈良県と三重県にまたがる6つの市村で組織する広域的な観光振興団体として国内外からの観光誘客による当圏域の観光産業振興の舵取り役となるべく、関係する団体や民間事業者等との連携による新たな組織体制の構築も視野に入れ、観光庁の日本版DMO法人登録を目指した取組を継続していきます。

「DMO (Destination Management/Marketing Organization)」とは

- ・観光庁によると、日本版DMOは、『地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人』と位置づけられています。



資料出所：観光庁ホームページ

資料編

- 「東奈良名張ツーリズム・マーケティング」設立趣意書
- 2019年度 東奈良名張ツーリズム・マーケティング組織体制
- 東奈良名張ツーリズム・マーケティング規約（2017～2019年度）
- 圏域6市村の関係する主な観光振興団体一覧（2020年3月現在）
- 圏域6市村の関係する主な観光資源一覧（抜粋）
- 圏域6市村の宿泊施設一覧（2020年3月現在）
- 圏域6市村のモバイルアンケート協力事業者一覧（2020年3月現在）

「東奈良名張ツーリズム・マーケティング」設立趣意書

東奈良から名張へ至る本地域は、室生赤目青山国定公園を中心とした、赤目四十八滝や香落溪、曾爾高原、三峰山、鍋倉溪、高見山等の山岳の変化に富んだ自然や、国宝の室生寺や大野寺等の名刹に恵まれ、近隣で随一の景観を誇る地域です。

また、記紀万葉に本地域の地名が散見される等、古の時代からの文化が脈々と息づいており、地域内に倭姫命の巡幸地や役行者伝説等の修験道ゆかりの地が存在し、「能」や「忍者」、「薬草」、「漆塗り」、「獅子舞」等、本地域に由来を持つ歴史・文化資源が多く存しています。

本日、本地域を構成する市村が連携し、これらの観光資源を生かし、自然や文化に親しむ旅行を求める外国人旅行者等をターゲットに誘客を図るため、「東奈良名張ツーリズム・マーケティング」を設立します。

「東奈良名張ツーリズム・マーケティング」では、各市村に存する自然、歴史、文化等の観光資源を周遊化するとともに、地域資源を生かした体験型・交流型ツアーを企画し、外国人旅行者等の誘客に取り組み、持続可能な観光事業の推進と地域経済の活性化を図ってまいります。

平成29年3月29日

東奈良名張ツーリズム・マーケティング

(発起人)

名張市長

亀井利克

宇陀市長

竹内幹郎

曾爾村長

芝田承教

御杖村長

伊藤収宣

山添村長

窪田政倫

東吉野村長

水本実

2019 年度 東奈良名張ツーリズム・マーケティング組織体制

役 職	会 員 名	備 考
会 長	名張市長 亀井 利克	
副会長	宇陀市長 高見 省次	
理 事	山添村長 森中 利也	
理 事	東吉野村長 水本 実	
監 事	曾爾村長 芝田 秀数	
監 事	御杖村長 伊藤 収宜	
運営委員長	名張市産業部観光交流室長 山下 光彦	担当者 係長 坂元 恵美
運営委員	宇陀市農林商工部商工観光課長 小野 雅司	担当者 主任 高臺 晴彦
運営委員	曾爾村企画課長 細谷 忠弘	担当者 課長補佐 磯野 千章
運営委員	御杖村むらづくり振興課長 西岡 悦夫	担当者 主事補 寺本 貴輝
運営委員	山添村地域振興課長 植田 誠輝	担当者 主事 廣 幸多
運営委員	東吉野村地域振興課長 新子 友一	担当者 研修員 下垣内 琢巳
事業部長	神田 昌典	
事業推進員	川野 萌美	営業・web担当
事業推進員	林 晶子	営業・web担当
事業推進員	藤田 哲司	営業・法人登録担当
事業推進員	堀内 宏則	営業担当
事業推進員	市川 美智子	事務担当

東奈良名張ツーリズム・マーケティング規約(2017～2019 年度)

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、東奈良名張ツーリズム・マーケティングと称し、英文名では East Nara Nabari Tourism Marketing と標記する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を会長の存する自治体に置く。

(目的)

第3条 本会は、インバウンド中心とした観光事業の推進を図るとともに、広域観光における観光事業の健全な発展と振興並びに地域の活性化を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、必要な事業(以下「当該事業」という。)を行う。

第2章 会員

(会員)

第5条 本会は、別表1に定める負担金を納めるものを正会員とする。

2 本会に賛同し、別表2に定める会費を納めるものを賛助会員とする。

第3章 役員

(種類及び定数)

第6条 本会の役員として、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事 2名

2 役員は、正会員の互選により選出する。

3 役員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

4 任期の途中において異動等があった場合は、当該者の後任のものが就任するものとする。この場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第7条 会長は、本会を代表し、その業務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

3 監事は、財産及び会計並びに業務執行の状況を監査するとともに、これについて不正の事実を発見したときは、総会の招集を請求し、これを総会に報告する。

第4章 総会

(構成)

第8条 総会は、正会員をもって構成する。

2 総会の議長は、会長が務める。

(権能)

第9条 総会は、この規約で別に定めるもののほか、本会の運営に関する重要な事項を議決する。

(開催)

第10条 総会は、会長が必要と認めるとき、又は正会員若しくは監事から招集の請求があったとき、開催する。

(定数及び議決)

第11条 総会は、会員の2分の1以上の出席がなければ開催することができない。

2 総会の議事は、出席者の過半数の賛成をもって決する。

(議事録)

第12条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 会員の現在員数、出席者数及び出席者氏名

(3) 審議事項及び議決事項

(4) 議事の経過の概要及びその結果

第5章 運営委員会

(設置等)

第13条 本会の適正な事業推進及び予算執行を図るため、正会員の担当課長及び事業部長で構成する運営委員会を設置する。

2 委員長は、会長の存する自治体の担当課長が務め、運営委員会を総務する。

3 運営委員会は、委員長が必要と認めるとき開催する。

第6章 マーケティング事業部

(設置等)

第14条 本会に、マーケティング事業部を設置し、事業計画及び予算に基づき事業を推進する。

2 事業部には、事業部長及び事業推進員を置き、事業部長が事業部を指揮、統括する。

3 事業部長及び事業推進員は、会長が任用する。

4 事業部の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 財産及び会計等

(事業年度)

第15条 本会の事業年度は、4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(財産)

第16条 本会の財産は、負担金、会費、寄付金品、財産から生じる収入、事業に伴う収入及びその他の収入をもって構成する。

2 本会の財産は、会長が管理し、その方法は、総会の議決を経て別に定める。

(事業構想、事業実施計画及び予算)

第17条 本会の事業構想、事業実施計画及びこれに伴う予算に関する書類は、会長が作成し、総会の議決を得なければならない。これを変更(軽微な変更を除く)する場合も同様とする。

(事業報告及び決算)

第18条 本会の事業報告及び決算に関する書類は、会長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を得なければならない。

(書類の保存)

第19条 当該事業に係る書類は、当該事業終了後5年間とする。

第8章 規約の変更及び解散

(規約の変更)

第20条 この規約は、総会の議決を得なければ変更することができない。

(解散)

第21条 本会は、総会において全正会員の議決を経て解散することができる。

2 解散時に本会において有していた事業構想書、実績報告書や各種会計書類等の文書及び当該事業の実施に係る責任並びに補償に関する事項について、会長の存する自治体が、当該事業終了後5年経過する間、責任をもって引き継ぐものとする。

(残余財産の処分)

第22条 本会の解散のときに有する残余財産のうち、国の事業を実施して得た財産は、原則として返還するものとし、個別に協議するものとする。

2 前項の残余財産以外は、総会の議決を得て、総会の指示した団体へ寄付するものとする。

第9章 その他

(書類)

第23条 事務所には、常に次に掲げる書類を備えておかななければならない。

(1) 本規約

(2) 正会員及び賛助会員名簿及び正会員及び賛助会員の異動に関する書類

(3) 会長、副会長、理事、監事及び職員の名簿

(4) 規約に定める期間の議事に関する書類

(5) その他必要な書類

(委任)

第24条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は別に定める。

付 則

(執行期日)

この規約は、平成29年3月29日から施行する。

別表1(第5条第1項関係)

正会員	負担金
市	7,000,000円
町	6,000,000円
村	5,000,000円

別表2(第5条第2項関係)

	年会費
賛助会員	120,000円

圏域6市村の関係する主な観光振興団体一覧（2020年3月現在）

団体名	代表者	所 在	電話番号	備 考
一般社団法人 奈良県ビジターズ ビューロー	理事長 荒井正吾	〒630-8361 奈良市池之町 3 奈良県 猿沢イン 3F	0742- 23-8288	日本版DMO登録法人
公益社団法人 三重県観光連盟	会長 小倉敏秀	〒514-0009 津市羽所町 700 アスト津 2F		日本版DMO登録法人
東大和西三重観光 連盟	会長 亀井利克 (名張市長)	〒518-0492 名張市鴻之台 1-1 (名張市観光交流室内)	0595- 63-7648	奈良県宇陀市、曾爾村、 御杖村、三重県津市、伊 賀市、名張市で構成、33 の賛助会員
大和高原(東吉野) 観光振興協議会	代表者 宇陀市農林 商工部長	〒633-0292 宇陀市榛原下井足 17-3	0745- 82-2457	奈良県宇陀市、山添村、 曾爾村、御杖村、東吉野 村で構成
宇陀市観光協会	会長 井上源一	〒633-0292 宇陀市榛原下井足 17-3	0745- 82-2457	
曾爾村観光協会	会長 木治正人	〒633-1212 宇陀郡曾爾村今井 495-1	0745- 94-2106	
御杖村観光協会	会長 森 源五	〒633-1302 宇陀郡御杖村菅野 368	0745- 95-2070	
山添村観光協会	会長 森中利也	〒630-2344 山辺郡山添村大字大西 151(山添村地域振興課内)	0743- 85-0081	
神野山観光協会	会長 奥西 守	〒630-2225 山辺郡山添村大字伏拝 888-1	0743- 87-0285	
五月川流域観光開 発協会	会長 大谷敏治	〒630-2344 山辺郡山添村大字大西 151(山添村地域振興課内)	0743- 85-0048	
東吉野村観光協会	会長 大丸仁志	〒633-2492 吉野郡東吉野村大字小川 99(東吉野村地域振興課内)	0746- 42-0441	
一般社団法人 名張市観光協会	会長 玉置英治	〒518-0729 名張市南町 822-2	0595- 63-9148	
特定非営利活動法 人赤目四十八滝溪 谷保勝会	理事長 寺田一彦	〒518-0469 名張市赤目町長坂 671-1	0595- 41-1180	

圏域6市村の関係する主な観光資源一覧（抜粋）

	宇陀市	曾爾村	御杖村
自然	大宇陀かぎろいの丘万葉公園、室生山上公園 芸術の森、鳥見山公園	曾爾高原、屏風岩公苑、鎧岳・兜岳、済浄坊の滝、古光山、小太郎岩、国見山、住塚山	三峰山、学能堂、不動の滝、ホタル
花	又兵衛桜、千年桜（佛隆寺）、しだれ桜（大野寺）石楠花（室生寺、弁財天）、花しょうぶ、お葉つきいちよう（戒長寺）	ススキ（曾爾高原）、山桜（屏風岩公苑）	白ツツジ・紅葉（三峰山）、桜（丸山公園） 半夏生園（岡田の谷）
アクティビティ・レジャー	サイクリング、ハイキング	ハイキング（曾爾高原）、釣り、峠キャンプ場、サンビレッジ曾爾オートキャンプ場、曾爾高原キャンプ場	霧氷登山・トレッキング（三峰山）、釣り
伝統・文化	薬草・大和当帰のまち（森野旧薬園、大願寺の薬草料理など）、毛皮川製品（奈良印伝）	漆（ねんりん舎）、大和当帰、曾爾の獅子舞	
歴史	室生寺、宇太水分神社、龍穴神社、阿紀神社、墨坂神社、八咫鳥神社、佛隆寺、大野寺、日張山青蓮寺、松山伝統的建造物群保存地区、旧旅籠あぶらや	楯岡山古墳	御杖神社、四社神社、春日神社（土屋原）、春日神社（桃俣）、安能寺
食	本葛、大和茶	トマト、ほうれん草、米、田舎みそ、三輪そうめん、曾爾高原ビール	
温泉	あきののゆ	お亀の湯	姫石の湯
その他	カエデの郷ひららでの体験	国立曾爾青少年自然の家、そに木霊リゾート、日本で最も美しい村連合	三季館、みつえ体験交流館、みつえ青少年旅行村村連合

	山添村	東吉野村	名張市
自然	神野山、星（フォレストパーク神野山）、牛ヶ峯岩屋樹型	高見山、国見山、国見山、投石の滝、七滝八壺、魚止の滝、東の滝、和佐羅滝	赤目四十八滝、青蓮寺湖、香落溪
花	枝垂れ桜（大照寺跡）	桜（天空の庭 高見の郷、宝蔵寺）紅葉（丹生川上神社、大又渓谷）	桜（青蓮寺湖、中央公園ほか）紅葉（赤目四十八滝、香落溪、積田神社ほか）、しだれ桜（赤目不動尊延寿院）
アクティビティ・レジャー	フォレストパーク神野山（神野山バーベキュー場、鍋倉溪、めえめえ牧場）冒険の森、カントリーパーク大川、釣り、布目湖	霧氷登山・トレッキング（高見山）、釣り、高見公園キャンプ場、東吉野キャンプ場、ふるさと村	トレッキング、滝行体験、忍者修行体験ほか（赤目四十八滝エコツアーデスク）、ぶどう・いちご狩り（青蓮寺湖観光村）、赤目四十八滝キャンプ場、鮎友釣り
伝統・文化	狂言、能		忍者修行の里（百地三太夫）、観阿弥創座の地、伊賀一ノ松明調進行事、火縄づくり
歴史	毛原廃寺、長久寺、神波多神社、春日神社、天神社、神野寺	丹生川上神社、龍泉寺、天誅組	夏見廃寺、美旗古墳群、名張藤堂家邸、初瀬街道、宇流富志禰神社、蛭子神社、やなせ宿、柏原城跡（天正伊賀の乱最終決戦地）、弥勒寺
食	大和茶	鮎、あまご、ゆず、よもぎ餅	伊賀米、伊賀牛、地酒、ぶどう、メロン、かたやき、和菓子食べ歩き、名張牛汁
温泉		たかすみ温泉、やはた温泉	赤目温泉、香落溪温泉、名張の湯
その他	めえめえ牧場		江戸川乱歩生誕地、日本サンショウウオセンター、とれたて名張交流館(まちなか駅ナバ)

圏域6市村の宿泊施設一覧（2020年3月現在）

市村名	名 称	所 在	電話番号
宇陀市 (12 施設)	室生オートキャンプ場	室生大野 3849	0745-92-2001
	◎保養センター 美榛苑	榛原福地 255	0745-82-1126
	ささゆり庵	室生深野 656	0745-88-9402
	◎B&B にしみね	室生西谷 513	0745-92-2206
	◎らびゆた宇陀	榛原八滝 433	0745-88-9455
	◎民宿 むろう	室生 405-1	0745-93-2118
	中村屋 旅館	室生 717	0745-93-2227
	橋本屋 旅館	室生 800	0745-93-2056
	◎今阪屋 旅館	大宇陀中新 1975	0745-83-0062
	ゲストハウスかえでの郷ひらら	菟田野古市場 135	0745-84-2888
	◎鎌倉山農園	室生三本松 2756	
	◎ゲストハウス奈の音	大宇陀西山 91	080-2331-1303
曾爾村 (12 施設)	◎サン・ビレッジ曾爾奥香落オート キャンプ場	大字今井 911-1	0745-94-2619
	静山荘	大字長野 626-1	0745-96-2233
	クラインガルテン曾爾	大字小長尾 759	0745-98-2111
	◎国立曾爾青少年自然の家	大字太良路 1170	0745-96-2121
	◎民宿 豊栄	大字今井 1262-1	0745-94-2154
	◎民宿 2・7	大字今井 1341-1	0745-96-2727
	木治屋	大字伊賀見 2123-2	0745-94-2551
	紅葉亭	大字伊賀見 2620-1	0745-94-2138
	そに木霊リゾート t a w a (古民家宿・キャンプ)	大字太良路 664	080-1503-5401
	森のオーベルジュ星咲	大字小長尾 658-1	0745-88-9155
	月陽	大字葛 739-1	080-9973-7640
	TOPOS	大字伊賀見 1475	070-4468-2075
	御杖村 (5 施設)	みつえ青少年旅行村(キャンプ)	大字神末 1790
三季館		大字桃俣 702	0745-95-3243
ログハウスほらのもり		神末 5051-138	0745-95-2951
まつや旅館		土屋原 1142	0745-95-2145
◎古民家民宿おもや		菅野 2415	0745-95-2675

市村名	名 称	所 在	電話番号
山添村 (3 施設)	里舎 (みちのりのやど)	広代 1222	0743-85-0525
	ume,	片平 452	0743-89-1875
	カントリーパーク大川キャンプ場	中峰山 1736	0743-85-1021
東吉野村 (8 施設)	東吉野キャンプ場	大字小 1159-3	0746-42-0463
	高見公園キャンプ場	大字木津 740	0746-44-0288
	◎ふるさと村	大字大豆生 739	0746-43-0413
	民宿ますもと	大字小栗栖 62-1	0746-42-0145
	杉ヶ瀬	大字小川 443	0746-42-0012
	◎鄙の里旅館 天好園	大字平野 689	0746-44-0117
	あまご池 高見山荘	大字杉谷 45	0746-44-0006
	◎ゲストヴィラ逢桜	大字小川 876	0746-42-1248
名張市 (16 施設)	赤目四十八滝キャンプ場	赤目町長坂 941-1	0595-63-9666
	ビジネスホテル栄	栄町 2952-9	0595-63-1122
	◎名張シティホテル	丸之内 37-1	0595-64-3551
	◎名張プラザホテル	上小波田 1808-1	0595-41-1166
	◎HOTEL・AZ三重名張	希央台1番町 10	0595-42-8188
	ホテルルートイン名張	蔵持町原出 1345-1	0595-67-3330
	ビジネスホテル万徳	木屋町 1391-3	0595-63-0526
	丸八旅館	栄町 2839	0595-63-0393
	◎青蓮寺レークホテル	青蓮寺峯の山 1652	0595-63-6211
	◎赤目温泉対泉閣	赤目町長坂 682	0595-63-3355
	滝本屋旅館	赤目町長坂 716	0595-63-3411
	赤目グリーンビレッジホテル	赤目町長坂 720	0595-63-0113
	◎湯元赤目山水園	赤目町柏原 1203	0595-63-1034
	◎和の庄 平井亭	葛尾 14	0595-63-6906
	春日旅館	平尾 3073	0595-63-0408
	◎松風の宿	上本町 34	0595-44-6355

◎は宿泊施設アンケート協力事業者

圏域6市村のモバイルアンケート協力事業者一覧（2020年3月現在）

市村名	宿泊事業者	その他事業者
宇陀市 (16 施設)	室生寺 橋本屋	室生寺
	今阪屋旅館	あききの湯
	ゲストハウス奈の音	道の駅宇陀路大宇陀
	民宿むろう	道の駅宇陀路室生
	保養センター美榛苑	ムロウ36ゴルフクラブ
	B&B にしみね	宇陀カントリークラブ
	らびゆた宇陀	阿騎野ゴルフクラブ
	鎌倉山農園	
	ゲストハウスかえでの郷ひらら	
曾爾村 (6 施設)	国立曾爾青少年自然の家	お亀の湯
	民宿 豊栄	曾爾高原ファームガーデン
	民宿 2・7	
	サン・ビレッジ曾爾奥香落オートキャンプ場	
御杖村 (4 施設)	古民家民宿おもや	道の駅伊勢本街道御杖
	みつえ青少年旅行村	姫石の湯
山添村 (2 施設)		めえめえ牧場
		奈良白鳳カントリークラブ
東吉野村 (6 施設)	ゲストヴィラ逢桜	たかすみ温泉
	ふるさと村	やはた温泉
	あまご池 高見山荘	
	鄙の里旅館 天好園	
名張市 (25 施設)	名張シティホテル	名張市観光協会 駅前案内所
	名張プラザホテル	赤目口駅旅のステーション
	HOTEL AZ 三重名張	青蓮寺湖観光村(山ゆり案内所)
	青蓮寺レークホテル	赤目四十八滝エコツアーデスク
	赤目温泉 対泉閣	癒しの里名張の湯
	湯元赤目 山水園	とれたて名張交流館
	赤目グリーンビレッジホテル	名張藤堂家邸
	松風の宿	ドン・キホーテUNY名張店
	和の庄 平井亭	桔梗が丘ゴルフクラブ
	赤目四十八滝キャンプ場	名張カントリークラブ
		グリーンハイランドゴルフ
		名張市武道交流館いきいき
		森のレストランアーチ
		つぐみカフェ
	このは(カフェレストラン)	